注3

大学番号:053

[平成29年度設置]

計画の区分: 学部の学科の設置

注1



文教大学 文学部 外国語学科 注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人文教大学学園 平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 越谷校舎事務局総務課

職名・氏名 課長 青木 勉

電話番号 048-974-8811

(夜間)

F A X 048-974-9439

e -mail ksoumu@stf.bunkyo.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

仮り

・学部の設置の場合:「〇〇大学 △△学部」

• 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

• 大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況 報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

文学部

<₽	N国語学科> ペー	-ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
4.	AC対象学部等を含む大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 9
6.	留意事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	41
·-·	I Secular	
添仅	过資料	
1.	設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見・・・・・・・	44
2		46

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人 文教大学学園

- (2) 大 学 名 **文教大学**
- (3) 大学の位置

〒343-8511

埼玉県越谷市大字南荻島3337番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を() 書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(ノジマ マサヤ) 野島 正也 (平成28年5月)		
学長	(ノジマ マサヤ) 野島 正也 (平成25年4月)	(コンドウ ケンジ) 近藤 研至 (平成29年4月)	任期満了に伴う改選 (平成29年4月1日)(29)
学 部 長	(ミヤタケ トシエ) 宮武 利江 (平成27年4月)		
学科長等	(リチャード ローガン) リチャード ローガン (平成29年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29) 平成30年度に報告する内容 → (30)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
 - ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合 には、欄を設けてください。)

(5) 一① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
文学部 外国語学科 学士(文学)	文学関係	年 4	人 70	年次 人	人 280	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均入学定員	備考
区分	春季入学 その他のき	期 春季入学 その他の学	用春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	V⊞ 75
	٨ .	7 7	70	70 X		
A 入学定員	(-) [-]	(-) [-]	(-)	(-) [-]		
志願者数) (-) (-)	462 -	391 -		
	[-] [-]	[-] [-]	[-][-]	[-][-]		
			447 -	377 -		
受験者数					1. 24倍	
			218 –	189 –		
合格者数	(-) (-) (-) (-)	(-) (-)	(-) (-)		
	[-][-]		[-][-]	[-][-]		
┃			83 -	91		
口 八子有奴						
入学定員超過率	'		1. 19	1. 3		
B/A			1. 19	1. 3		

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について<u>外数で</u>記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	7 年度	平成2	8年度	平成2	9 年度	平成3	0年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		<i>*</i> 5
	1 年 次		$\overline{}$		$\overline{/}$	83	- r 1	91	-		
	1 年次					[-]	[-]	[-]	[-]		
			$\overline{}$		$\overline{}$			80	-		
	2 年次							[-]	[-]		
	3年次										
	4 年次										
	- thi					_	3 -] -)	[-	71 -] -)		

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				⇔ =⊓		
	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳	VD 34 + W -	主な退学理由
対象年度			入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	1	人	平成27年度	人	人	
十八20千度	A	^	平成28年度	人	人	
			平成27年度	人	人	
平成29年度	83 人	3 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	3 人	0 人	他の教育機関への進学
			平成27年度	人	人	
平成30年度	91 人	0 人	平成28年度	人	人	
17成00平皮	31 X		平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合 計	174 人	3 人				

- (注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

平成27年度の退学者数(a) _ = _ #DIV/0! % 平成27年度の在学者数(b) 【平成28年度】 平成28年度の退学者数(a) 平成28年度の在学者数(b) % _ = _ #DIV/0! 【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) _ = _ 3.61 % 平成29年度の在学者数(b) 83 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) - = -0 % 平成30年度の在学者数(b)

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<文学部 外国語学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

配当年次 単位数 専任教員等の配置 任 科目 区分 選 授業科目の名称 准教授 助 必 自 · 兼 担 宗教学 2 哲学 2 1 倫理学 2 1 文学 2 1 2 歷史学 2 1 論理学 2 1 音楽 2 2 美術 2 心理学 2 4 言語学 2 1 法律学 2 1 政治学 2 1 経済学 2 1 日本国憲法 2 2 社会学 2 文化人類学 2 1 地理学 2 1 1 教育学 2 2 国際学 2 1 共通教養 科学思想史 2 1 数学 2 1 物理学 2 化学 2 生態学 2 1 生物学 2 1 2 生理学 2 1 宇宙地球科学 2 1 総合講座 I 2 5 総合講座Ⅱ 2 1 総合講座Ⅲ 2 2 1 総合講座IV 2 2 総合講座V 2 1 1 総合講座VI 2 4 3 総合講座VII 2 1 1 総合講座VIII 2 2 情報基礎 8 2 2 1 情報活用 2 6 情報A 2 1 情報B 2 2 情報C 2 1 情報D 2 2 1 情報E 2 ドイツ語 I 1前 2 2 ドイツ語 Ⅱ 2 1後 2 ドイツ語皿 2後 2 2 フランス語 I 2 1前 1 フランス語 Ⅱ 1後 2 2 フランス語皿 2後 2 2 中国語 I 1前 2 1 国中国語Ⅱ 1後 2 1 語 中国語皿 2後 2 1 コリア語 I 1前 2 1 目 コリア語 I 1後 2 1 コリア語皿 2後 2 日本語 I 1前 2 2 2 日本語Ⅱ 1後 2 日本語皿 2前 2 2 2 日本語Ⅳ 2後 2 2後 トピックで学ぶドイツ語 A

【平成30年度】

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准数	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	担担
	宗教学	1-2-3-4前-後		2							1
	哲学 倫理学	1-2-3-4前-後		2 2							1
	文学	1-2-3-4例		2							1 3
	歴史学	1-2-3-4前-後		2							1
	論理学	1-2-3-481-90		2							1
	音楽	1-2-3-4前-後		2							1
	美術	1-2-3-4前-後		2							1
	心理学 言語学	1-2-3-4前-後		2 2							4 1
	法律学	1-2-3-4前		2							1
	政治学	1-2-3-4前-後		2							1
	経済学	1-2-3-4前-後		2							2
	日本国憲法	1-2-3-4前-後		2							2
	社会学	1-2-3-4前-後		2							1
	文化人類学 地理学	1/2/3/481-90		2 2							1 1
	地理字 教育学	1-2-3-4前-後		2 2							2
	国際学	1・2・3・4後		2							1
共	科学思想史	1・2・3・4前		2							1
通教	数学	1・2・3・4前		2							1
養	物理学	1・2・3・4前		2							1
科目	化学 生態学	1/2/3/48/-88		2 2							1
	生物学	1-2-3-481-86		2							
	生理学	1-2-3-481-88		2							2
	宇宙地球科学	1・2・3・4前		2							1
	総合講座 I	1-2-3-48)-		2							4(#A=/0x)
	総合講座 II	1-2-3-4後		2							10(84=200)
	総合講座Ⅲ 総合講座Ⅳ	1-2-3-4前		2 2							407A=/00
	総合講座V	1・2・3・4前		2							80FA=/UX)
	総合講座VI	1・2・3・4後		2							1004=170
	総合講座VII	1・2・3・4後		2							1004=200
	総合講座VIII	1・2・3・4後		2							1004=200
	情報基礎	1・2・3・4前		2							9
	情報活用	1・2・3・4後		2							5
	情報A	1-2-3-4前-後		2							1
	情報B	1-2-3-4前-後		2							2
	情報C	1-2-3-4前-後		2							1
	情報D 情報E	1-2-3-4前-後		2							2
	ドイツ語 I	1前		2			1				2
	ドイツ語 Ⅱ	1後		2							2
	ドイツ語皿	2後		2							2
	フランス語I	1前		2							1
	フランス語 II フランス語 III	1後 2後		2 2							2
外	中国語 I	21g 1前		2							1
国	中国語Ⅱ	1後		2							1
語	中国語皿	2後		2							1
科目	コリア語 I	1前		2							1
1	コリア語Ⅱ	1後		2							1
	コリア語皿 日本語 I	2後 1前		2							1 2
	日本語Ⅱ	1後		2							2
	日本語皿	2前		2							2
	日本語Ⅳ	2後		2							2
	トピックで学ぶドイツ語 A	2後		1							1

科目		配当	4	単位数	义	界	·仕教	員等	の配	直	兼任		7.1 C		配	È	单位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼任
区分	授業科目の名称	年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		科目 区分	授業科目の名称	当年物	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
\dashv	トピックで学ぶドイツ語 B	次 3前	修	択 1	由	授	授	師	教	手	担 1			トピックで学ぶドイツ語 B	次 3前	修	<u>択</u>	由	授	授	師	教	手	担 1
	トピックで学ぶドイツ語 C	3後		1							1			トピックで学ぶドイツ語 C	3後									1
	ドイツ語で学ぶドイツ語 I	3前		1			1							ドイツ語で学ぶドイツ語 I	3前		1			1				
	ドイツ語で学ぶドイツ語 Ⅱ	3前		1							1			ドイツ語で学ぶドイツ語Ⅱ	3前		1							1
	ドイツ語で学ぶドイツ語Ⅲ	3後		1			1							ドイツ語で学ぶドイツ語Ⅲ	3後		1			1				
	トピックで学ぶフランス語 A	2後		1							1			トピックで学ぶフランス語 A	2後		1							1
	トピックで学ぶフランス語 B	3前									1			トピックで学ぶフランス語 B	3前		1							1
	トピックで学ぶフランス語 C フランス語で学ぶフランス語 I	3後		1			1				1			トピックで学ぶフランス語 C フランス語で学ぶフランス語 I	3後		1			1				1
	フランス語で学ぶフランス語 I	3前 3前		1 1			1							フランス語で学ぶフランス語Ⅱ	3前 3前					1				
	フランス語で学ぶフランス語皿	3後		1			1							フランス語で学ぶフランス語皿	3後					1				
	トピックで学ぶ中国語A	2後		1							1			トピックで学ぶ中国語A	2後		1							1
	トピックで学ぶ中国語B	3前		1							1			トピックで学ぶ中国語B	3前		1							1
	トピックで学ぶ中国語C	3後		1							1			トピックで学ぶ中国語C	3後		1							1
外	中国語で学ぶ中国語 I	3前		1							1		外	中国語で学ぶ中国語I	3前		1							1
玉	中国語で学ぶ中国語Ⅱ	3前		1							1		玉	中国語で学ぶ中国語Ⅱ	3前		1							1
百口	中国語で学ぶ中国語Ⅲ トピックで学ぶコリア語 A	3後 2後		1							'		語	中国語で学ぶ中国語Ⅲ トピックで学ぶコリア語 A	3後 2後		1							' '
科目	トピックで学ぶコリア語 B	3前		1 1		1					'		科目	トピックで学ぶコリア語 B	3前				1					l '
	トピックで学ぶコリア語 C	3後		1		l '					1		_	トピックで学ぶコリア語 C	3後				l					1
	コリア語で学ぶコリア語 I	3前		1		1								コリア語で学ぶコリア語 I	3前		1		1					
	コリア語で学ぶコリア語 Ⅱ	3前		1							1			コリア語で学ぶコリア語Ⅱ	3前		1							1
	コリア語で学ぶコリア語Ⅲ	3後		1							1			コリア語で学ぶコリア語Ⅲ	3後		1							1
	ドイツ語.IV 	3後		2							2			ドイツ語 ™	3後		2							2
	フランス語IV	3後		2							2			フランス語IV	3後		2							2
	中国語Ⅳ	3後		2							1			中国語Ⅳ	3後		2							1
	コリア語Ⅳ トピックで学ぶ英語A	3後 3前		2							1			コリア語Ⅳ トピックで学ぶ英語A	3後 3前		2							
	トピックで学ぶ英語B	3後									1			トピックで学ぶ英語B	3後									' '
	トピックで学ぶ英語C	3前		1							1			トピックで学ぶ英語C	3前		1							1
	トピックで学ぶ英語D	3後		1							1			トピックで学ぶ英語D	3後		1							1
	日本語 V (1)	3前		1							1			日本語 V (1)	3前		1							1
	日本語 V(2)	3後		1							1			日本語 V(2)	3後		1							1
	運動と健康 I	1前		1			1				3			運動と健康 I	1前		1			1				3
	運動と健康Ⅱ	1後		1			1				3			運動と健康Ⅱ	1後		1			1				3
1本	スポーツと人間I	2前		1		1	·				1		体 育	スポーツと人間 I	2前		1			'				1
±1	スポーツと人間Ⅱ	2後		1		1					' 1		科	スポーツと人間Ⅱ	2後		1							
日	スポーツ・レクリエーション I	2前		'	,	1					'		目	スポーツ・レクリエーション I	2版 2前		'	1	١,					
						' '													l					
-	スポーツ・レクリエーションⅡ	3後	_		1	1	7					-		スポーツ・レクリエーションⅡ	3後	_		1	1					-
	Introduction to Global Studies	1前	2			3	7				1(#A=n'X)			Introduction to Global Studies	1前	2			3	7				1(#L=n'X)
	Study Abroad Preparation	1後	1				2				3クラス			Study Abroad Preparation	1後	1			1	1	1			3クラス
	研究基礎演習I	1前	2			1	2							研究基礎演習 I	1前	2			1	2				
	研究基礎演習Ⅱ	1後	2			1	2							研究基礎演習 Ⅱ	1後	2			1	2				
	Oral Communication I	1前	1			1		1			2			Oral Communication I	1前	1			1		1			2
	Oral Communication II	1後	1								3			Oral Communication II	1後	1			1	1				2
	eLearning I	1前	1				2							eLearning I	1前	1				2				
	eLearning II	1後	1				2							eLearning II	1後	1				2				
	Reading I	1前	2				1				1			Reading I	1前	2			1					1
専	Reading II	1前	2				1				1		車	Reading II	1前	2			1	1				
88	Reading III	1後	2					1			1		門	Reading III	1後	2					1			1
必修	Pronunciation Clinic	1後	1				2				1		必修	Pronunciation Clinic	1後	1				2				1
	英語ライティング演習	1後	2					1			3		16	英語ライティング演習	1後	2				2	1			1
日	言語コミュニケーション基礎論	1後	2				1						目	言語コミュニケーション基礎論	1後	2				1				
	English for International Communication A	2前	4			1					読み替え			English for International Communication A	2前	4			1					読み替え
	English for International Communication B	2前	4					1			読み替え			English for International Communication B	2前	4			<u> </u>		1			読み替え
							1								2後					1				1
	eLearning III	2後	1				1				1			eLearning III		1				1				,
	Presentation & Debate	2後	2				1				2			Presentation & Debate	2後	2				1				2
	English for Academic Purposes	2後	2			1	1				2			English for Academic Purposes	2後	2			1	1				2
	Reading IV	2後	2				1				1			Reading IV	2後	2				1				1
	English for Specific Purposes I	2後	2				1				2			English for Specific Purposes I	2後	2			1					2
	Pro-seminar	2後	2			1	1	1						Pro-seminar	2後	2			1	1	1			
	Problem-solving Workshop	2後	1	L			3							Problem-solving Workshop	2後	1				3				

L		配	Ĺ	单位数	钕	専	任教	員等	の配	置	兼 任		L		配	<u>i</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	曲	授	授	師	教	手	担				次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
専	English for Specific Purposes II		2			1					2		専	English for Specific Purposes II	3前	2			1					2
門	English for Specific Purposes III		2								2		門	English for Specific Purposes III	3後	2					1			2
必修	Seminar I(1)	3前	2			3	6	1					必修	Seminar I(1)	3前	2			3	6	1			
科	Seminar I(2)	3後	2			3	6	1					科	Seminar I(2)	3後	2			3	6	1			
目	Seminar II (1)	4前	2			3	6	1					目	Seminar II (1)	4前	2			3	6	1			
	Seminar II (2)	4後 1前	4	2		3	6 1	1			-		-	Seminar II (2)	4後 1前	4	2		3	6	1			
	World Englishes World History	1後		2										World Englishes World History	1後		2			'				
	Business Communication	2後		2										Business Communication	2後		2							
	Global Issues and Current Event			2			'	1						Global Issues and Current Event	2後		2			'	1			
	Issues in ICT	2後		2			1	'						Issues in ICT	2後		2			1				
	Special Topics in Global Studies			2			1				集中・脳年			Special Topics in Global Studies	2後		2			, i				1(節中・節中)
	Communicative English I(G)	2前		2			, i				1			Communicative English I(G)	2前		2							1
	Communicative English II (G)	2後		2							1			Communicative English II (G)	2後		2							1
	英米文化 I (G)	2前		2			1							英米文化 I (G)	2前		2		1					
	英米文化 II(G)	2後		2			1							英米文化 II(G)	2後		2		1					
	Workshop for Project A	3前		2			1							Workshop for Project A	3前		2			1				
	Workshop for Project B	3後		2			1							Workshop for Project B	3後		2			1				
	Tour Guide English	3後		2							1			Tour Guide English	3後		2							1
	Translation for Business	3前		2			1							Translation for Business	3前		2			1				
	North American Studies	3前		2		1								North American Studies	3前		2		1					
	North American Studies	3後		2				1						North American Studies	3後		2				1			
	英米文化特講 I (G)	3前		2							1			英米文化特講 I (G)	3前		2							1
	英米文化特講 II (G)	3後		2							1			英米文化特講 Ⅱ (G)	3後		2							1
	Special Topics in Career English	4前		2							1			Special Topics in Career English	4前		2							1
	異文化コミュニケーション	1前		2			1							異文化コミュニケーション	1前		2			1				
	多文化共生論	1前		2			1							多文化共生論	1前		2		1					
	東アジア文化論	1後		2		1								東アジア文化論	1後		2		1					
専	ヨ―ロッパ文化論	1後		2							1		専	ヨーロッパ文化論	1後		2			1				
門	東アジア共生論	2後		2							1		門	東アジア共生論	2後		2							1
選択	国際人権論	2後		2		1							選	国際人権論	2後		2		1					
必	日欧交流史	2後		2			1						択必	日欧交流史	2後		2			1				
修刊	東アジア交流史	2後		2							1		修	東アジア交流史	2後		2							1
科目	Special Topics in Global Studies	2後		2			1				集中・隔年		科目	Special Topics in Global Studies	2後		2			1				集中・隔年
	Workshop for Project C	3前		2		1								Workshop for Project C	3前		2		1					
	Workshop for Project D	3後		2			1							Workshop for Project D	3後		2			1				
	Asain Studies I	3前		2							1			Asain Studies I	3前		2							1
	Asian Studies II	3後		2							1			Asian Studies II	3後		2							1
	Eruopean Studies I	3前		2			1							Eruopean Studies I	3前		2			1				
	European Studies II	3後		2			1							European Studies II	3後		2			1				
	Gender Studies	3前		2			1							Gender Studies	3前		2			1 .				
	Environmental Issues	3後		2			1	١.						Environmental Issues	3後		2			1				
	Special Topics in Area Studies	4前		2				1			,			Special Topics in Area Studies	4前		2				1			ا ، ا
	日本文化基礎Ⅰ	1前 1後		2 2							2			日本文化基礎Ⅰ	1前		2							2 2
	日本文化基礎 II Japanese Culture and Tradition			2							_			日本文化基礎 II Japanese Culture and Tradition	1後 1後		2							1
	日本語教育実践 I	2前		1		1	1				オムニバス			日本語教育実践 I	2前		1		1	1				オムニバス
	日本語教育実践Ⅱ	2後		'		1	1				オムニバス			日本語教育実践Ⅱ	2後		1		1	'				オムニバス
	口平面软目关成 II Current Issues in Japanese Soc	- 44		2				1						口本語教育美成 II Current Issues in Japanese Soc	2後 2後		2				1			
	インターンシップ	2前·後		2			1							インターンシップ	2前·後		2			1				
	外国語技能資格A	1前		2			1							外国語技能資格A	1前		2			1				
	外国語技能資格B	1前		2			1							外国語技能資格B	1前		2			1				
	外国語技能資格C	1前		2			1							外国語技能資格C	1前		2			1				
	外国語技能資格D	1前		2			1							外国語技能資格D	1前		2			1				
	Creative Writing	2前		2			1							Creative Writing	2前		2			1				
ĺ	Academic Writing	2前		2			1							Academic Writing	2前		2			1				
	海外実地研修 I	2前		2			1							海外実地研修 I	2前		2			1				
		-111			<u> </u>		<u>'</u>	<u> </u>	<u> </u>	I	<u> </u>	ı	Ь		-133					<u>'</u>				ш

14.5		配	ì	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任	₇ ,			配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		沿	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
専		次	修	択	曲	授	授	師	教	手		L	専		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
門	海外実地研修Ⅱ	2前		4			1					ı	門	海外実地研修Ⅱ	2前		4			1				
選択	海外実地研修Ⅲ	2前		4			1						選択	海外実地研修皿	2前		4			1				
必	海外実地研修Ⅳ	2前		8			1 .					!	必	海外実地研修IV	2前		8			1				
修科	海外実地研修 V	2前		8			1						修科	海外実地研修 V	2前		8			1				
目	海外実地研修VI	2前		8			1						目	海外実地研修VI	2前		8			1				
	多文化理解概論	1後		2		1	3				オムニバス			多文化理解概論	1後		2		1	3	1			80FA=/UX)
	多文化理解演習 I	1前		2		1								多文化理解演習 I	1前		2		1					
	多文化理解演習 Ⅱ	1後		2		1								多文化理解演習 Ⅱ	1後		2		1					
	アジア文化研究Ⅰ	2前		2							1			アジア文化研究Ⅰ	2前		2		١.					1
	アジア文化研究Ⅱ	2前		2		1								アジア文化研究Ⅱ	2前		2		1					
	ヨーロッパ文化研究Ⅰ	2前		2			1							ヨーロッパ文化研究 I	2前		2			1				
	ヨーロッパ文化研究Ⅱ	2後		2							1			ヨーロッパ文化研究Ⅱ	2後		2							'
	比較文化論	2前		2			3				20 (7)			比較文化論	2前		2							7(#A=J(X)
	アジア事情Ⅰ	2前		2							1			アジア事情Ⅰ	2前		2							
	ヨーロッパ事情Ⅰ	2前		2			١.				1			ヨーロッパ事情Ⅰ	2前		2							l ' l
	英米事情 I	2前		2			1							英米事情Ⅰ	2前		2			1				
	現代文化論	2後		2							1			現代文化論	2後		2							
	国際関係論 I	3前		2							1			国際関係論 I	3前		2							
	国際関係論 II 国際教育論	3後 3後		2 2							1			国際関係論Ⅱ	3後 3後		2							
		3後		2							1			国際教育論	3後		2							
	アジア事情 II ヨーロッパ事情 II	3後		2							1			アジア事情 II ヨーロッパ事情 II	3後		2							
	英米事情Ⅱ	3後		2							1			英米事情 II	3後		2							
				l							1													
	言語学概論 アジアの言語 I	1前 1前		2 2							1			言語学概論 アジアの言語 I	1前 1前		2							
	アジアの言語Ⅱ	1後		2							1			アジアの言語Ⅱ	1後		2							
	ョーロッパの言語 I	1前		2							1			ランテの音品 I ヨーロッパの言語 I	1前		2							'
	ヨーロッパの言語 I	1後		2							1			ヨーロッパの言語Ⅱ	1後		2							'
	言語と文化Ⅰ	2前		2							1			言語と文化Ⅰ	2前		2							'
専	言語と文化Ⅱ	2後		2							1	3	専	言語と文化Ⅱ	2後		2							
門教	言語と社会Ⅰ	2前		2		1					'		門 教	言語と社会Ⅰ	2前		2		1					
育	言語と社会Ⅱ	2後		2		1							衣 育	言語と社会Ⅱ	2後		2		1					
科日	対照言語学 I	2後		2		·					1		科 日	対照言語学 I	2後		2		l					1
l ^H	対照言語学Ⅱ	2前	ı	2							1	Ι'	Ħ	対照言語学Ⅱ	2前		2							1
	記号と意味	3後		2							1			記号と意味	3後		2							1
	言語系総合講座	3前		2		1	4							言語系総合講座	3前		2		1	4				
	言語と心理 I	3前		2			1				1			言語と心理 I	3前		2		'	1				1
	言語と心理Ⅱ	3後		2			1				1			言語と心理Ⅱ	3後		2			1				1
	文学概論	1前		2							1			文学概論	1前		2							1
	映画論	1後		2							1			映画論	1後		2							1
	児童文学 I	1前		2			1							児童文学 I	1前		2			1				
	児童文学Ⅱ	1後		2			1							児童文学Ⅱ	1後		2			1				
	文学と宗教	1前		2				1						文学と宗教	1前		2				1			
	演劇論 I	2前		2				1						演劇論 I	2前		2				1			
	演劇論Ⅱ	2後		2		1								演劇論Ⅱ	2後		2		1					
	比較文学 I	2前		2							1			比較文学 I	2前		2							1
	比較文学Ⅱ	2後		2		1								比較文学Ⅱ	2後		2		1					
	社会と文学 I	2後		2							1			社会と文学 I	2後		2							1
	社会と文学Ⅱ	2後		2							1			社会と文学Ⅱ	2後		2							1
	ヨ―ロッパの文学 I	2前		2							1			ヨーロッパの文学 I	2前		2							1
	∃ーロッパの文学Ⅱ	2後		2							1			ヨーロッパの文学Ⅱ	2後		2							1
	キャリアデザイン論	2前		2							1			キャリアデザイン論	2前		2							1
	キャリアリテラシー I	2前		2			1							キャリアリテラシー I	2前		2			1				
	キャリアリテラシー 🛚	2後		2			1							キャリアリテラシー I	2後		2			1				
	キャリアリテラシー皿	3前		2			1							キャリアリテラシー皿	3前		2			1				
	キャリアリテラシー ™	3後		2			1							キャリアリテラシーⅣ	3後		2			1				
	日本語の技能総合演習	2前	L	2				L			1			日本語の技能総合演習	2前		2		L	L	L		L	1

科目		配当		单位数					の配		兼任
件日 区分	授業科目の名称	年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	日本語の技能総合演習	2前		2							1
	情報処理と言語	2前		2			1				
	情報処理と文化	2後		2			1				
	編集出版の基礎	3前		2							1
	編集出版の展開	3後		2							1
	教育工学 I	3前		2							2
	教育工学Ⅱ	3後		2							2
	日本語教育学 I	1前		2							3
	日本語教育学Ⅱ	1後		2							3
	日本語教育学Ⅲ	1前		2							2
	日本語教育学Ⅳ	1後		2							2
	日本語教育概論 I	1前		2							1
	日本語教育概論Ⅱ	1後		2							1
	日本語教育法 I	2前		2							3
	日本語教育法Ⅱ	2後		2							2
	日本語教育教材研究 I	2後		2							1
専	日本語教育事情	2前		2		1	1	1			オムニバ
門	日本語教育学V	2後		2							1
教育	音声教育法	3前		2							1
科	文章教育法	3後		2							1
目	日本語教育法皿	3後		2							1
	日本語教育教材研究Ⅱ	3前		2							1
	日本語教育特講I	3前		2							1
	日本語教育特講Ⅱ	3後		2							1
	日本語教育実習I	3前		2			1	1			
	日本語教育実習Ⅱ	3後		2		2					
	日本語教育実習Ⅲ	4前		2							1
	日本語教育実習Ⅳ-(1)	4前		1			1	1			
	日本語教育実習Ⅳ-(2)	4後		1			1	1			
	外国語実地演習 I	1前		2			1				
	外国語実地演習Ⅱ	1前		2			1				
	外国語実地演習Ⅲ	1前		2			1				
	外国語実地演習Ⅳ	1前		2			1				
	外国語実地演習V	1前		2			1				
	外国語実地演習VI	1前		2			1				
	外国語実地演習Ⅷ	1前		2			1				
		عدرا		١,		l	١,	l			

目		配当	Ĺ	单位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼 任	科目		配当	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼	区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	兼
	日本語の技能総合演習		<u>修</u>	. 投	<u> 由</u> 	授	授	師	教	手	<u>担</u>		日本語の技能総合演習	2前	<u>修</u>	択 2	由	授	授	師	教	手	<u>担</u>
	情報処理と言語	2前		2			1						情報処理と言語	2前		2			1				ľ
	情報処理と文化	2後		2			;						情報処理と文化	2後		2			Ċ				4
	編集出版の基礎	3前		2			'				1		編集出版の基礎	3前		2							1
	編集出版の展開	3後		2							1		編集出版の展開	3後		2							1
	教育工学 I	3前		2							2		教育工学 I	3前		2							2
	教育工学Ⅱ	3後		2							2		教育工学Ⅱ	3後		2							2
	日本語教育学 I	1前		2							3		日本語教育学 I	1前		2							3
	日本語教育学Ⅱ	1後		2							3		日本語教育学Ⅱ	1後		2							3
	日本語教育学Ⅲ	1前		2							2		日本語教育学Ⅲ	1前		2							2
	日本語教育学Ⅳ	1後		2							2		日本語教育学Ⅳ	1後		2							2
	日本語教育概論 I	1前		2							1		日本語教育概論 I	1前		2							1
	日本語教育概論Ⅱ	1後		2							1		日本語教育概論Ⅱ	1後		2							1
	日本語教育法 I	2前		2							3		日本語教育法 I	2前		2							2
	日本語教育法Ⅱ	2後		2							2		日本語教育法Ⅱ	2後		2							2
	日本語教育教材研究 I	2後		2							1		日本語教育教材研究 I	2後		2							1
草	日本語教育事情	2前		2		1	1	1			オムニバス	車	日本語教育事情	2前		2			1				*オムニパス)
· 月	日本語教育学V	2後		2							1	門	日本語教育学Ⅴ	2後		2							1
复	音声教育法	3前		2							1	教育	音声教育法	3前		2							1
4	文章教育法	3後		2							1	科	文章教育法	3後		2							1
1	日本語教育法皿	3後		2							1	目	日本語教育法Ⅲ	3後		2							1
	日本語教育教材研究Ⅱ	3前		2							1		日本語教育教材研究Ⅱ	3前		2							1
	日本語教育特講 I	3前		2							1		日本語教育特講 I	3前		2							1
	日本語教育特講Ⅱ	3後		2							1		日本語教育特講Ⅱ	3後		2							1
	日本語教育実習I	3前		2			1	1					日本語教育実習 I	3前		2			1	1			
	日本語教育実習Ⅱ	3後		2		2							日本語教育実習Ⅱ	3後		2		2					
	日本語教育実習Ⅲ	4前		2							1		日本語教育実習Ⅲ	4前		2							1
	日本語教育実習Ⅳ-(1)	4前		1			1	1					日本語教育実習Ⅳ-(1)	4前		1			1	1			
	日本語教育実習Ⅳ-(2)	4後		1			1	1					日本語教育実習Ⅳ-(2)	4後		1			1	1			
	外国語実地演習 I	1前		2			1						外国語実地演習 I	1前		2			1				
	外国語実地演習Ⅱ	1前		2			1						外国語実地演習 Ⅱ	1前		2			1				
	外国語実地演習Ⅲ	1前		2			1						外国語実地演習Ⅲ	1前		2			1				
	外国語実地演習Ⅳ	1前		2			1						外国語実地演習Ⅳ	1前		2			1				
	外国語実地演習Ⅴ	1前		2			1						外国語実地演習V	1前		2			1				
	外国語実地演習Ⅵ	1前		2			1						外国語実地演習VI	1前		2			1				
	外国語実地演習Ⅷ	1前		2			1						外国語実地演習Ⅷ	1前		2			1				
	外国語実地演習Ⅷ	1前		2			1						外国語実地演習Ⅷ	1前		2			1				
			_		_						_												

【平成29年度】

61 P		配		单位数				員等			兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	宗教学	1-2-3-4前-後	修	択 2	由	授	授	師	教	手	担 1
	哲学	1-2-3-4前-後		2							1
	倫理学	1-2-3-4前		2							1
	文学	1-2-3-4前-後		2							3
	歴史学	1-2-3-4前-後		2							
	論理学	1-2-3-4前-後		2							
	音楽	1-2-3-4前-後		2							
	美術	1-2-3-4前-後		2							
	心理学	1-2-3-4前-後		2							4
	言語学	1-2-3-4前-後		2							
	法律学	1・2・3・4例		2							
	政治学	1-2-3-4前-後		2							-
	経済学	1-2-3-4前-後		2							
	日本国憲法	1-2-3-4前-後		2							2
	社会学	1-2-3-4前-後		2							
	文化人類学	1-2-3-4前-後		2							•
	地理学	1-2-3-4前-後		2							
	教育学	1・2・3・4前		2							2
共	国際学	1・2・3・4後		2							
通	科学思想史	1・2・3・4前		2							
教 養	数学	1・2・3・4前		2							
科	物理学	1-2-3-480		2							
目	化学	1-2-3-4前-後		2							
	生態学生物学	1-2-3-4前-後		2 2							
	生理学	1-2-3-4前-後		2							
	宇宙地球科学	1-2-3-460		2							
	総合講座I	1-2-3-481-		2							
	総合講座Ⅱ	1-2-3-4後		2							1
	総合講座Ⅲ	1 - 2 - 3 - 4 8 1		2							
	総合講座IV	1・2・3・4前		2							4
	総合講座V	1 - 2 - 3 - 4 (6)		2							
	総合講座VI	1・2・3・4後		2							
	総合講座VII	1・2・3・4後		2							
	総合講座VIII	1・2・3・4後		2							2
	情報基礎	1・2・3・4前		2							1
	情報活用	1 • 2 • 3 • 4 後		2							6
	情報A	1-2-3-4前-後		2							-
	情報B	1-2-3-4前-後		2							2
	情報C	1-2-3-4前・後		2							-
	情報D	1-2-3-4前-後		2							2
	情報E	1-2-3-4前-後		2							
	ドイツ語 I	1前		2							2
	ドイツ語Ⅱ	1後		2							2
	ドイツ語皿	2後		2							2
	フランス語I	1前		2							
外	フランス語Ⅱ	1後		2							2
玉	フランス語皿	2後		2							2
語 科	中国語Ⅰ	1前		2 2							
目	中国語 II 中国語 II	1後 2後									
	中国語皿 コリア語 I	1前		2							
	コリア語エ	1後		2							
	コリア語皿	2後		2							
	_ / /	- 区									l '

		配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	飾	教	手	担
	日本語Ⅱ	1後		2							2
	日本語皿	2前		2							2
	日本語Ⅳ	2後		2							2
	トピックで学ぶドイツ語 A	2後		1							1
	トピックで学ぶドイツ語 B	3前		1							1
	トピックで学ぶドイツ語 C	3後		1							1
	ドイツ語で学ぶドイツ語 I ドイツ語で学ぶドイツ語 II	3前		1			1				1
	ドイツ語で学ぶドイツ語II ドイツ語で学ぶドイツ語III	3前 3後		1			1				Ι'
	トピックで学ぶフランス語 A	2後		' 1			'				1
	トピックで学ぶフランス語 B	3前		1							1
	トピックで学ぶフランス語 C	3後		1							1
	フランス語で学ぶフランス語 I	3前		1			1				Ι΄
	フランス語で学ぶフランス語Ⅱ	3前		1			1				
	フランス語で学ぶフランス語皿	3後		1			1				
	トピックで学ぶ中国語A	2後		1			, i				1
	トピックで学ぶ中国語B	3前		' 1							' 1
外层	トピックで学ぶ中国語C	3後		1							1
国語	中国語で学ぶ中国語I	3前		1							1
科	中国語で学ぶ中国語Ⅱ	3前		1							1
目	中国語で学ぶ中国語Ⅲ	3後		1							1
	トピックで学ぶコリア語 A	2後		1							1
	トピックで学ぶコリア語 B	3前		1		1					
	トピックで学ぶコリア語 C	3後		1							1
	コリア語で学ぶコリア語 I	3前		1		1					
	コリア語で学ぶコリア語 Ⅱ	3前		1							1
	コリア語で学ぶコリア語Ⅲ	3後		1							1
	ドイツ語Ⅳ	3後		2							2
	フランス語Ⅳ	3後		2							2
	中国語Ⅳ	3後		2							1
	コリア語Ⅳ	3後		2							1
	トピックで学ぶ英語A	3前		1							1
	トピックで学ぶ英語B	3後		1							1
	トピックで学ぶ英語C	3前		1							1
	トピックで学ぶ英語D	3後		1							1
	日本語Ⅴ(1)	3前		1							1
	日本語 V(2)	3後		1							1
	運動と健康 I	1前		1			1				3
体	運動と健康 Ⅱ	1後		1			1				3
育	スポーツと人間I	2前		1		1					1
科 目	スポーツと人間 II	2後		1		1					1
	スポーツ・レクリエーション I	2前			1	1					
	スポーツ・レクリエーションⅡ	3後			1	1					
	Introduction to Global Studies	1前	2			3	7				1(オムニハ"ス)
	Study Abroad Preparation	1後	1			1	1	1			3クラス
	研究基礎演習I	1前	2			1	2				
	研究基礎演習Ⅱ	1後	2			1	2				_
専	Oral Communication I	1前	1			1		1			2
門	Oral Communication II	1後	1			1					2
必修	eLearning I	1前	1				2				
科	eLearning II	1後	1				2				,
目	Reading I	1前	2			1	1				1
	Reading II	1前	2			'	1				,
	Reading III	1後	2				,	1			1
	Pronunciation Clinic	1後					2	1			1
	英語ライティング演習	1後 1後	2				2	1			Ι'
I	言語コミュニケーション基礎論	1後	2				1	l			

科目	担業利日の夕社 -	配当		単位数 L選			任教				任
区分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	兼担
	English for International Communication A	2前	<u>11念</u> 4	択	由	1	技	<u> </u>	_ 教_	_ _	扱み
	English for International Communication B	2前	4			ľ		1			読み
	eLearning III	2後	1				1	'			1
	Presentation & Debate	2後	2								2
	English for Academic Purposes		2			1					2
		2後				l '	`				1
専門	Reading IV	2後	2				1 .				2
必必	English for Specific Purposes I					١.	1				
修	Pro-seminar	2後	2			1	1	1			
科目	Problem-solving Workshop	2後	1			<u> </u>	3				H
_	English for Specific Purposes II		2			1					2
	English for Specific Purposes III		2					1			2
	Seminar I(1)	3前	2			3	6	1			
	Seminar I(2)	3後	2			3	6	1			
	Seminar II(1)	4前	2			3	6	1			
	Seminar II (2)	4後	4			3	6	1			
	World Englishes	1前		2			1				
	World History	1後		2			1				
	Business Communication	2後		2			1				
	Global Issues and Current Event	2後		2				1			
	Issues in ICT	2後		2			1				
	Special Topics in Global Studies	2後		2			1				集中 -
	Communicative English I(G)	2前		2							١.
	Communicative English II (G)	2後		2							١.
	英米文化 I (G)	2前		2			1				
	英米文化 II(G)	2後		2			1				
	Workshop for Project A	3前		2			1				
	Workshop for Project B	3後		2			'				
		3後		2			'				١.
	Tour Guide English						١.				
	Translation for Business	- 133		2		١.	1				
	North American Studies I	3前		2		1					
	North American Studies II	3後		2				1			١.
	英米文化特講 I (G)	3前		2							
	英米文化特講 II (G)	3後		2							
専門	Special Topics in Career English	4前		2							
選	異文化コミュニケーション	1前		2			1				
択	多文化共生論	1前		2			1				
必修	東アジア文化論	1後		2		1					
科	ヨーロッパ文化論	1後		2			1				
目	東アジア共生論	2後		2							1
	国際人権論	2後		2		1					ĺ
	日欧交流史	2後		2			1				ĺ
	東アジア交流史	2後		2							١.
	Special Topics in Global Studies	2後		2			1				集中 -
	Workshop for Project C	3前		2		1					
	Workshop for Project D	3後		2			1				
	Asain Studies I	3前		2							١.
	Asian Studies II	3後		2							١.
	Eruopean Studies I	3前		2			1				ĺ
	European Studies II	3後		2							ĺ
				2			`				ĺ
	Gender Studies	3前					1 1				ĺ
	Environmental Issues	3後		2			1				ĺ
	Special Topics in Area S			2				1			1
	日本文化基礎I	1前		2							2
	日本文化基礎Ⅱ	1後		2							2
	Japanese Culture and Tradition	1後	l	2							1
	日本語教育実践 I	2前		1							

科目		配当		单位数				員等			兼任
区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助工	兼
	Current Issues in Japanese Soc	46	<u>修</u>	. 択. 2	由	授	授	<u>師</u> 1	<u>教</u>	手	担
	インターンシップ	2前・後		2			1				
	外国語技能資格A	1前		2			1				
	外国語技能資格B	1前		2			1				
専	外国語技能資格C	1前		2			1				
門	外国語技能資格D	1前		2			1				
選 択	Creative Writing	2前		2			1				
必	Academic Writing	2前		2			1				
修科	海外実地研修 I	2前		2			1				
目	海外実地研修Ⅱ	2前		4			1				
	海外実地研修Ⅲ	2前		4			1				
	海外実地研修Ⅳ	2前		8			1				
	海外実地研修V	2前		8			1				
	海外実地研修VI	2前		8			1				
	多文化理解概論	1後		2		1	1				10PA
	多文化理解演習 I	1前		2		1					
	多文化理解演習Ⅱ	1後		2		1					
	アジア文化研究 Ι	2前		2							
	アジア文化研究 Ⅱ	2前		2		1					
	ヨ―ロッパ文化研究 I	2前		2			1				
	ヨーロッパ文化研究 Ⅱ	2後		2							
	比較文化論	2前		2			3				20/1/2
	アジア事情 Ι	2前		2							
	ヨーロッパ事情 I	2前		2							-
	英米事情 I	2前		2			1				
	現代文化論	2後		2							
	国際関係論 I	3前		2							-
	国際関係論Ⅱ	3後		2							
	国際教育論	3後		2							
	アジア事情 Ⅱ	3後		2							
	ヨーロッパ事情 Ⅱ	3後		2							
	英米事情Ⅱ	3後		2							
	言語学概論	1前		2							
専	アジアの言語 I	1前		2							
門 教	アジアの言語 Ⅱ	1後		2							
育	ヨ―ロッパの言語 I	1前		2							
科 目	∃―ロッパの言語Ⅱ	1後		2							
	言語と文化 I	2前		2							
	言語と文化Ⅱ	2後		2							
	言語と社会Ⅰ	2前		2		1					
	言語と社会Ⅱ	2後		2		1					
	対照言語学 I	2後		2							
	対照言語学Ⅱ	2前		2							
	記号と意味	3後		2							
	言語系総合講座	3前		2		1	4				
	言語と心理Ⅰ	3前		2			1				
	言語と心理Ⅱ	3後		2			1				
	文学概論	1前		2							
	映画論	1後		2							
	児童文学I	1前		2			1				
	児童文学Ⅱ	1後		2			1				
	文学と宗教	1前		2				1 1			
	演劇論Ⅰ	2前 2第		2				1			
	演劇論Ⅱ	2後		2		1					
		2前		2	i 1	ı	l	I	l	1	
	比較文学 I 比較文学 II	2後		2		1					

.		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	社会と文学Ⅱ	2後		2							1
	ヨーロッパの文学 I	2前		2							1
	∃ーロッパの文学Ⅱ	2後		2							1
	キャリアデザイン論	2前		2							1
	キャリアリテラシー I	2前		2			1				
	キャリアリテラシー II	2後		2			1				
	キャリアリテラシーⅢ	3前		2			1				
	キャリアリテラシーⅣ	3後		2			1				
	日本語の技能総合演習	2前		2							1
	日本語の技能総合演習	2前		2							1
	情報処理と言語	2前		2			1				
	情報処理と文化	2後		2			1				
	編集出版の基礎	3前		2							1
	編集出版の展開	3後		2							1
	教育工学 I	3前		2							2
	教育工学Ⅱ	3後		2							2
	日本語教育学 I	1前		2							3
	日本語教育学Ⅱ	1後		2							3
	日本語教育学Ⅲ	1前		2							2
	日本語教育学Ⅳ	1後		2							2
	日本語教育概論 I	1前		2							1
専門	日本語教育概論Ⅱ	1後		2							1
教	日本語教育法 I	2前		2							2
育	日本語教育法Ⅱ	2後		2							2
科目	日本語教育教材研究 I	2後		2							1
Н	日本語教育事情	2前		2		1	1	1			****
	日本語教育学V	2後		2							1
	音声教育法	3前		2							1
	文章教育法	3後		2							1
	日本語教育法皿	3後		2							1
	日本語教育教材研究Ⅱ	3前		2							1
	日本語教育特講 I	3前		2							1
	日本語教育特講Ⅱ	3後		2							1
	日本語教育実習 I	3前		2			1	1			
	日本語教育実習Ⅱ	3後		2		2					
	日本語教育実習皿	4前		2		١					1
	日本語教育実習IV-(1)			1			1	1			
	日本語教育実習IV-(2)			1			1	1			
	外国語実地演習 I	1前		2			1				
	外国語実地演習Ⅱ	1前		2			1				
	外国語実地演習Ⅲ	1前		2			'				
	外国語実地演習IV	1前		2			'				
	外国語実地演習V	1前		2			'				
	外国語実地演習VI	1前		2			'				
	外国語実地演習WI	1前		2			'				
	外国語実地演習Ⅷ 外国語実地演習Ⅷ	1前		2			'				
	八百四大心灰日地	נימי		_							

- (注)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。 その上で、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字</u>としてください。

 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ <u>1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入</u>してください。
 ・ <u>不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度</u>、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成29年度】

- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正ため、「文学」の担当者のうち、専任教員等の配置を「准教授 1」「兼 2」から「准教授 0」「兼 3」に変更。
- ・ 兼扣を専仟としてカウントしていたことの修正ため、「歴史学」の担当者のうち、専仟教員等の配置を「准教授1」「兼0」から「准教授0」「兼1」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正ため、「美術」の担当者のうち、専任教員等の配置を「准教授1」「兼0」から「准教授0」「兼1」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正ため、「心理学」の担当者のうち、専任教員等の配置を「教授4」「兼0」から「教授0」「兼4」に変更。 ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正ため、「経済学」の担当者のうち、専任教員等の配置を「教授1」「兼0」から「教授0」「兼1」に変更。
- ・ 末担を専任としてカウントしていたことの修正たの、「栓済子」の担当者のつち、専任教員等の配置を「教授!」「兼り」から「教授り」「末り」に変更。 ・ 兼相を専任としてカウントしていたことの修正ため、「文化人類学」の担当者のうち、専任教員等の配置を「教授!」「兼り」から「教授り」「兼1」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしてことの修正の修正及び兼任講師に任用辞退のため、「地理学」の担当者のうち、専任教員等の配置を「教授 1」「兼 1」から「兼 1」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正ため、「教育学」の担当者のうち、専任教員等の配置を「教授2」「兼0」から「教授0」「兼2」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正ため、「科学思想史」の担当者のうち、専任教員等の配置を「准教授 1」「兼 0 」から「准教授 0 」「兼 1 」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正ため、「数学」の担当者のうち、専任教員等の配置を「准教授1」「兼0」から「准教授0」「兼1」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正ため、「物理学」の担当者のうち、専任教員等の配置を「准教授1」「兼0」から「准教授0」「兼1」に変更。
- ・担当者変更のため、「生物学」の担当者のうち、専任教員等の配置を「教授1」「兼1」から「教授0」「兼2」に変更。
- 担当者変更のため、「生理学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ 開設コマ数の変更、兼担を専任としてカウントしていたことの修正、及び担当者変更のため、「総合講座 I 」の専任教員等の配置を「教授5」「兼1」から「教授0」「兼4」に変更。
- ・兼担を専任としてカウントしていたことの修正及び担当者変更のため、「総合講座Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「兼2」から「教授0」「兼13」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正及び担当者変更のため、「総合講座Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授2」「講師1」「兼0」から 「教授0」「講師0」「兼3」に変更。
- 兼担を専任としてカウントしていたことの修正及び担当者変更のため、「総合講座IV」の専任教員等の配置を「教授2」「兼1」から「教授0」「兼4」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正及び担当者追加のため、「総合講座 \mathbb{V} 」の専任教員等の配置を「教授 $\mathbb{1}$ 」「講師 $\mathbb{1}$ 」「兼 $\mathbb{0}$ 」から
- 「教授0」「講師0」「兼3」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正及び担当者追加のため、「総合講座VI」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授3」「講師1」「兼0」から
- ・「教授0」「准教授0」「講師0」「兼1」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正及び担当者変更のため、「総合講座呱」の専任教員等の配置を「教授 1」「准教授 1」「兼 0」から「教授 0」「准教授 0」「兼 1」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正ため、「総合講座呱」の専任教員等の配置を「教授2」「「兼0」から「教授0」「兼2」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正ため、「情報基礎」の専任教員等の配置を「教授 2」「准教授 1」「兼 8」から「教授 0」「准教授 0」「兼 1 1」に変更。
- ・ 担当者変更のため、「Oral communication II」の専任教員等の配置を「兼3」から「教授1」「兼2」に変更。
- ・職位変更のため、「Reading I」のの専任教員等の配置を「准教授1」「兼1」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・担当者変更のため、「Reading II」のの専任教員等の配置を「准教授 1」「兼 1」から「教授 1」「准教授 1」「兼 0」に変更。
- ・ 担当者変更のため、「英語ライティング演習」の専任教員等の配置を「講師1」「兼3」から「准教授2」「講師1」「兼1」に変更。
- ・ 担当者変更のため、「ヨーロッパ文化論」の専任教員等の配置を「兼 1 」から「准教授 1 」「兼 0 」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしてことの修正及び担当者変更のため、「多文化理解概論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授3」から「教授1」「准教授1」「兼1」に変更。

【平成30年度】

- ・ 担当者追加のため、「経済学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当者変更のため、「総合講座皿」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・ 担当者変更のため、「ドイツ語Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼 1」から「准教授 1」「兼 1」に変更。
- ・担当者変更のため、「情報基礎」専任教員等の配置を「兼11」から「兼9」に変更。
- ・担当者変更のため、「情報基礎」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼5」に変更。
- ・兼担を専任としてカウントしていたことの修正及び担当者変更のため、「スポーツと人間I」専任教員等の配置を「教授1」「兼1」から「兼1」に変更。
- ・兼担を専任としてカウントしていたことの修正及び担当者変更のため、「スポーツと人間Ⅱ」専任教員等の配置を「教授1」「兼1」から「兼1」に変更。
- ・ 担当者変更のため、「Oral Communication II」の専任教員等の配置を「教授1」「兼2」から「教授1」「准教授1」「兼2」に変更。
- ・担当者変更のため、「多文化共生論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当者変更のため、「Special Topics in Global Studies A」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・ 担当者変更のため、「English for Specific Purposes I」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼2」から「教授1」「兼2」に変更。
- ・ 担当者変更のため、「英米文化 I (G) 」の専任教員等の配置を「准教授 1」から「教授 1」に変更。
- ・ 担当者変更のため、「英米文化Ⅱ (G) 」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当者変更のため、「多文化理解概論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「兼1」から「教授1」「准教授2」「講師1」「兼3」に変更。
- ・ 担当者変更のため、「比較文化論」の専任教員等の配置を「准教授3」「兼2」から「准教授3」「講師1」「兼3」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正のため、「日本語教育事情」の専任教員等の配置を「教授 1 」「「准教授 1 」「講師 1 」から「教授 0 」「准教授 1 」「講師 0 」「兼 2 」に変更。
- ・ 兼担を専任としてカウントしていたことの修正及び担当者変更のため、「情報処理と文化」の専任教員等の配置を「准教授 1」から「兼 4」に変更。
- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更	状況	備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由計	冲力
29 科目	232 科目	2 科目	263 科目	29 科目 [0]	232 科目 [0]	2 ABB 263 ABB 263 BBB	科目

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	対 配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	Communicative English I (G)	2	2前	専門	選択	履修対象学年が短期留学で不在となるため
2	Creative Writing	2	2前	専門	選択	履修対象学年が短期留学で不在となるため
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

いずれの科目も2年時前学期開設に設定している科目であり、本学科設置2年目である今年度は対象とな る学生が大学の定める短期留学に参加するため、これらの科目を履修することができないため、非開講 とすることを設置計画時から予定していた。なお、次年度以降は3年次以上となった学生が履修できるよう毎年開講する予定である。学生に対しては、授業時間割冊子及びオリエンテーション内での説明で非開講であることを周知している。

- 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計 2 0.76 % 設置時の計画の授業科目数の計(A) 263

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分	,				内							容				備考
(1)		区	分			専	用		共		用		も用する 学校等の				計		※校地等(その他)
		校舎	含敷 均	ь		14	16, 235. 70㎡				0m²				0m²		146, 2	35. 70 m²	①緑地借用地 4,796.0㎡ -借用期間- 2年 ②緑地駐輪場借用地
校		運動	場用地	1		6	33, 337. 30m²				0m²				0m²		63, 3	37. 30m²	2年 ③駐車場借用地
地		小	Ħ	ŀ		20	09, 573. 00 m ²				0m²				0m²		209, 5	73. 00 m²	2, 719. 0㎡ -借用期間- 3年 ④駐車場借用地 570㎡
等		-	の他	1		1	15, 108. 00 m ²				0m ⁴				0m²		15, 1	08. 00 m²	-借用期間- 3年 ⑤駐輪場借用地 2,058.0㎡
		合	큵	ŀ		22	24, 681. 00m [®]				0m²		+ = + 7		0m²		224, 6	81. 00 m²	-借用期間- 3年
						専	用		共		用		も用する 学校等の				計		
(2) 校			舎			7	75, 081. 64m²				0m ²				0m²		,	81. 64m²	大学全体
					(75, 081	. 64m²)		(0 m	i)		(0	m³)		(75, 0	081. 64	m [†])	
				講	義	室	演	習 3	室		実験実習	室	情報	処理学習	留施設	語:	学学習	施設	
(3) 教		室	等		132	134室	<u> </u>		45室		74	75 室		19	23 室			8 5室	大学全体
													(補助單	戦員 10	6 14人)	(補助	職員	3人)	越谷校舎改修工事のため (30)
(4) 専	任教	員研究	室				新設学部	等の	2名称					室		数			
ļ							文学部						1	1	0			室	
	亲	听 設学部			図 ^注 ち外国	書 1主1	子術	雑誌		雷	子ジャー	·+ //	視聴算	覚資料	機械・	具器	標	本	
		の名和	尓		3/1E	· = / #		71 🗀 1	種	-	・~、 うち外国			点		点		点	
•				685, 70	01 [72	, 949)	8, 500 ((1, 24	49)	8,	803 [6, 8	329]	11,	681					
(5				652, 3	37 (82	, 531)	9, 515_(1	, 324	4)—	6, 3	50 (5, 38	39)	9, !	902	-			_	
図書	þ	小国語	学科	685, 70	01 [72	, 949]	8, 500 ([1, 2 4	49)	8,	803 [6, 8	329]	11,	681			l .		学部単位での特定不能の
• 設				-(628, 3	37 [79,	231))	(9, 515_(1, 32	24])	_(6,	350 (5, 3	89)	9,-	602	(-)	(-)	ため、大学全体の数
備				685, 70	01 [72	, 949]	8, 500 ((1, 24	49)	8,	803 [6, 8	329]	11,	681					
		=1		652, 3	37 (82	, 532)	9, 515 (1	, 324	4)	6, 3	50 (5, 38	9)	9, 1	902	_			_	
		計		685, 70	01 [72	, 949)	8, 500 ([1, 2 4	49)	8,	803 [6, 8	329]	11,	681	,	`	ļ ,	,	
				-(628, 3	37 (79,	231))	9, 515 (1	, 324	4)	6, 3	50 (5, 38	9)	9,	602	(-)	(-)	
(C) W		*	8±		面		. 積			閲	覧 座 月	席 数	•	Ц	又 納 □	」 能	· ##	数	
(6) 図		書	館				8, 185. 3	1m ²				978	939席			607, (000 62	1, 000⊞	大学全体
(7) /+		夲	命中		面		積	İ			体	育館以	外のスァ	ポーツ旅	記設の概要	Ē			
(7) 体		育	館				5, 127. 3	7m²			プール	,			Ę	道場	i		大学全体
		経費	[2	<u>z</u>	分		開設年度	F	完成年度	更	区	分	開設前	前年度	開設年	度	完月	戊年度	
(8)	- 1		教員 1	人当り	研究	豊等	300千円		300 1	一円	図書購	入費	40, 7	77千円	40, 777	千円	40,	777千円	図書費には電子ジャーナ
経費の 積り及	びし		共 同	研习	究 費	等	3,690千円	2	1, 960 7	円	設備購	入費	250, 8	74千円	250, 874	千円	250,	874千円	ル・データベースの整備 費(運用コスト含む)を
維持方 の 概	法			第	1年次		第2年次		第	3 年》	<u> </u>	第4年	下次	第	5 年次		第6:	年次	含む。
		納付	†金 		1, 440-	千円	1, 1707	F円		1, 180	千円	1, 1	90千円		千日	9		千円]
		学生	納付金	以外の紅	維持方	法の概	要補助金	収入	、手数	料収.	入、資産	運用収	入、事業	業収入、	雑収入	等			

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「 (30) 」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少,建築計画の遅延)がある場合には,「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	文教大	学大学院	完						備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍			
人間科学研究科 臨床心理学専攻(博士課程)	3	2	-	6	博士 (心理学)	0	平成12年度	埼玉県越谷市大字 南荻島宇出津3337番地	
臨床心理学専攻(修士課程)	2	20	-	40	修士 (心理学)	0. 97	平成5年度	同上	
人間科学専攻(修士課程)	2	10	-	20	修士 (人間科学)	0. 4	平成17年度	同上	
言語文化研究科 言語文化専攻(博士課程)	3	2	-	6	博士 (文学)	0	平成24年度	同上	
言語文化専攻(修士課程)	2	10	-	20	修士 (文学)	1.1	平成11年度	同上	
教育学研究科 学校教育専攻(修士課程)	2	10	-	20	修士 (学校教育)	0. 2	平成19年度	同上	
情報学研究科 情報学専攻(修士課程)	2	6	-	12	修士 (情報学)	1.16	平成17年度	神奈川県茅ヶ崎市 行谷字大島1100番地	
国際協力学研究科 国際協力学専攻(修士課程)	2	-	_	-	修士 (国際協力 学)	_	平成17年度	同上	平成27年4月 学生募集停止
国際学研究科 国際学専攻(修士課程)	2	5	-	10	修士 (国際学)	1	平成27年度	同上	平成27年4月設置
大学の名称	文教大	:学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学 定 員	収 容定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所 在 地	
	年		年次	J		倍			
			人						
教育学部 学校教育課程	4	250	-	985	学士 (教育学)	1. 25	昭和44年度	埼玉県越谷市大宇 南荻島宇出津3337番地	平成28年4月 入学定員増 (15)
心理教育課程	4	100	_	400	学士 (教育学)	1. 22	平成15年度	同上	
人間科学部 人間科学科	4	140	_	560	学士 (人間科 学)	1.1	昭和51年度	同上	
臨床心理学科	4	120	-	480	学士 (人間科 学)	1. 08	平成10年度	同上	
心理学科	4	140	-	560	学士 (人間科 学)	1. 22	平成20年度	同上	
文学部 日本語日本文学科	4	120	-	500	学士 (文学)	0. 95	昭和62年度	同上	平成29年度4月 入学定員滅 (△10)
英米語英米文学科	4	100	-	460	学士 (文学)	1. 28	昭和62年度	同上	平成29年度4月 入学定員滅 (△30)
中国語中国文学科	4	70	-	340	学士 (文学)	1. 45	昭和62年度	同上	平成29年度4月 入学定員滅 (△30)
<u>外国語学科</u>	4	<u>70</u>		140	学士 (文学)	<u>1. 24</u>	平成29年度	<u>同上</u>	平成29年4月設置
情報学部					学士	1. 08		神奈川県茅ヶ崎市	平成26年4月
情報システム学科	4	95	_	380	(情報学)		昭和55年度	行谷字大島1100番地	入学定員滅(△55)
情報社会学科	4	95	-	380	学士 (情報学)	1. 08	平成26年度	同上	平成26年4月設置
メディア表現学科	4	95	-	380	学士 (情報学)	1. 13	平成26年度	同上	平成26年4月設置
広報学科	4	-	_	-	学士 (情報学)	-	昭和55年度	同上	平成26年4月 学生募集停止
経営情報学科	4	-	_	-	学士 (情報学)	-	昭和55年度	同上	平成26年4月 学生募集停止
国際学部 国際理解学科	4	120	_	480	学士 (国際学)	1. 13	平成12年度	同上	
国際観光学科	4	125	-	500	学士 (国際学)	1. 2	平成12年度	同上	
健康栄養学部 管理栄養学科	4	100	-	400	学士 (栄養学)	1.1	平成22年度	同上	
経営学部 経営学科	4	165	-	660	学士 (経営学)	1. 2	平成26年度	同上	平成26年4月設置

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科),

大学院(専攻)及び短期大学(学科)(<u>AC対象学部等含む</u>)について、それぞれの学校種ごとに、

平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

- ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上 の最小単位(大学であれば「学科」,短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・ A C対象学部等については、必ず犯入するとともに、下線を引いてください。 ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<文学部 外国語学科>

(1)一① 担当教員表

【認可時又	は届出時】	【平成29	年度】	【平成30	年度】
専任・	氏 名	専任・	氏 名	専任・	氏 名

職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	3	兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
	担当授業科目名				担当授業科目名	ΙL			担当授業科目名
	リチャード・ローガン (65) <平成29年4月>				リチャード・ローガン (65) <平成29年4月>				リチャード・ローガン (66) <平成29年4月>
教授	Introduction to Global Studies ## Gral Communication I Study Barrook Frequent Intelligence for Communication I Study Barrook Frequent Intelligence for Communication American Intelligence for Communication American Intelligence for American Intelligence for Inte		専	教授	Introduction to diobal Studies® Oral Communication I Studies® Oral Communication I Studies® Oral Communication I Department of the International English for International English for Securities Purposes I Botth American Studies I Security American Studies I Security Oral Communication I (2) Seminar I (2) Seminar II (3) Seminar II (3) Seminar II (3) Seminar II (4) Seminar II (5) Seminar II (5) Seminar II (6) Seminar II (7)		専	教授	Introduction to Global Studies® foral Commenciation I foral Commenciation A foral Commenciation A foral Commenciation A foral Commenciation A foral Commenciation I foral Commen
	川口 良 (59) <平成29年4月>				川口 良 (59) <平成29年4月>				川口 良 (60) <平成29年4月>
教授	総合議座取※ Introduction to Global Studies※ 書語と社会 I 書語と社会 I Seminar I(1) Seminar I(2) 日本語教育書習 I [稀午] Seminar II(1)		専	教授	Introduction to Global Studies※ 書籍と社会 I 書籍と社会 I Seminar I(1) Seminar I(2) 日本語教育書習 I [稀午] Seminar I(1) Seminar II(2)		専	教授	Introduction to Global Studies※ 書籍と社会 I 書籍と社会 I Seminar I(1) Seminar I(2) 日本語奏何実習 I [縣年] Seminar II(1) Seminar II(1)
					神田 祥子 (38) <平成29年4月>				神田 祥子 (39) <平成29年4月>
			兼担	講師	集合教施 万米		兼担	講師	集合限度 7%
					千葉 聡子 (56)				千葉 聡子 (57) 〈平成29年4月〉
			兼担	教授	ペード級とのディバン 最合限表が米		兼担	教授	ペールにもディバン 最合数数7米
	山下 英愛 (57) <平成29年4月>				山下 英愛 (57) <平成29年4月>				山下 英愛 (58) <平成29年4月>
教授	総合構能が無 Introduction to Global Studies 研究基礎の 研究基礎の アンプスと研究 取別 取別 取別 取別 の の の の の の の の の の の の の		専	教授	Introduction to Global Studies所 研究基礎開發 I 東京アア文化論 多文化研修研究 Fro-teaming Fro-teaming RoyAdap Studies Of Froject C Soming I(I) Soming I(I) Soming I(I) Soming I(I)		専	教授	Introduction to Global Studies版 研究基礎課題 1 第フシア大会議院 アンドス会議院 アンドス会議院 アンドス会議院 アンドス会議院 リンドを選手 Washang 10 Washang 10 Senies I (1) Senies I (1) Senies I (1)
			兼任	講師	堀 あきこ (49) <平成29年4月>		兼任	講師	堀 あきこ (50) <平成29年4月>
					総合限 直77米				他合跟鹿 河米
准教授	武田 和恵 (52) 《平成29年4月》 Introduction to Global Studies 研文基礎調度 1 dearring 1 Management 1 Managemen		専	准教授	武田 和恵 (52) 《平成29年4月》 Introduction to Global Studies 研文基礎調度 1 Accepting 1 Accep		専	准教授	武田 和恵 (53) 《平成29年4月》 Introduction to Global Studies We は として は は は は は は は は は は は は は は は は は は は
	教 · 教 · 教 · 教 · 教 · · · · · · · · · · ·	### (年 %) (年 %) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	## (年) (新年 (予定) 年月 1月	第4	##	### (年 齢)	### (年 節)	### (年 新) 年月 ※#日 ※	(年 節)

専任・			 専任・			専任	· . I		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	乗担 兼担 兼日	<u>.</u>	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
					糸井 江美	_	_		糸井 江美
		(58) <平成29年4月>			(58) <平成29年4月>				(59) <平成29年4月>
専	准教授	Introduction to Global Studies W Rading I 現代のコミューアンコン論 現代のコミュニアンション Fro-testing Social Topics in Global Studies A Social Topics in Global Studies B I [MR2] Social Topics In Global Studies B I MR2 I Grant Project A Gender Studies Sominar I (1) Issues Sominar I (2) Sominar II (3) Sominar II (3)	専	教授	Introduction to Global Studies別 Reading I 開発性のコニューンル	Ę	<u> </u>	教授	Introduction to Global Studies別 Management (Apple 1997)
						兼	任	講師	ロジャー エドウィン パティモア (64) <平成30年4月>
									Special Topics in Global Studies A [編年]
		福田 倫子 (北森 倫子) (48) <平成29年4月>			福田 倫子 (北森 倫子) (48) <平成29年4月>				福田 倫子 (北森 倫子) (49) <平成29年4月>
専	准教授	日本語教育実践1※ 日本語教育実践1※ 日本語教育実践2 (編年) 日本語教育実践2 (編年) 実践系表で会議2 (編年) 展記との第1 (第1 (第1 (第1 (第1 (第1 (第1 (第1 (第1 (第1 (専	准教授	日本総教育実践1回 日本総教育実践1回 日本総教育実践1回 日本総教育実践1回 実践系統分議第四 Saninar 1(1) 第26-64 第26-64 Saninar 1(1) Saninar 1(1) Saninar 1(2) Gamer 1(2) Gamer 1(2) Gamer 1(2) Gamer 1(2)		Ţ	准教授	日本語教育実践1※ 日本語教育実践1※ 日本語教育実践 [編章] 東部系教会議第2 [編章] 東部系教会議第2 第2 [編章] 東部系教会議第2 5 Seninar 1(1) 5 Seninar 1(1) 5 Seninar 1(2) 1 日本語教育実習が一(1) [編章]
		藤上 隆治 (56) <平成29年4月>			藤上 隆治 (56) <平成29年4月>				藤上 隆治 (57) <平成29年4月>
専	准教授	Introduction to Global Studies® elearning I mc文地观赏 mc文地观赏 mc文地观赏 mc文地观赏 mc文地观赏 mczening	専	准教授	Introduction to Global StudiesH described I WARRENE H WARRENE WARRENE H WARRENE WARRENE H WARRENE WARRENE H WARRENE	Ų	Ţ.	准教授	Introduction to Global Studies部 研究基礎調整 研究基礎調整 研究基礎調整 Market Studies Market Studi
		山川 智子 (44) <平成29年4月>			山川 智子 (44) <平成29年4月>				山川 智子 (45) <平成29年4月>
専	准教授	総合連載以前 Introduction to Global Studies形 研究基礎調査 I 多々との共通 第一のファンな化物で I 日本の大化物で I 日本の大化物 日本の大化物 日本の大 日本の大化 日本の大 日本の大 日本の大 日本の大 日本の大 日本の大 日本の大 日本の大	事	准教授	Introduction to Global Studies部 研究基礎の計 研究基礎の計 コーロッグ文化研究 コーロッグ文化研究 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Ų	<u>p</u> .	准教授	Introduction to Global Studies側 多た他等機能能 また他等機能能 EMEX CARREL EMEX
		^{グラヴィアニ・ジャン・フランソワ} (44) <平成29年4月>			グラヴィアニ・ジャン・フランソワ (44) <平成29年4月>				^{グラヴィアニ・ジャン・フランソワ} (45) <平成29年4月>
専	准教授	フランス語 I Introduction to Global Studies III Reading II Reading II Properation for Internation for I Internation for I Internation is Red All Internation in Subdamic Processes Reading IV アランス語 I アランス語 I アランス語 I アランス語 I アランス語 I アランス語 I Foreign Studies I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	市	准教授	フランス版 I Introduction to Global Studies® Reading I Reading II Proporation Service Proposal Conference Pro	ģ	Ţ.	准教授	アラス技画 Introduction to Global Studies® Radding II Rodding II Rodding II Rodding II Polyan (Paper 1) Rodding II アランス間で来アランス間 II アランス間で来アランス間 II アランス間で来アランス間 II Rodding II アランス間で来アランス間 II Rodding II

専任・		rr b	1 1	任・		п Б	Ī	専任・		п в
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	兼	₹担・ 接任 O別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	NA VAI	兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
専	講師	フメイ・アレック (39) 《平成29年4月> *** *** ** ** ** ** ** ** **		専	講師	ラメイ・アレック (39) 《平成29年4月> Percentage of the state of the		専	講師	ラメイ・アレック (40) 《平成29年4月> Introduction to Global Studies® Oral Commencation 1 Programtion Reading II Reading
兼担	教授	岸田 直子 (69) 〈平成29年4月〉	:	兼担	教授	岸田 直子 (69) 《平成29年4月》	-			
兼担	教授	加納 陸人 (68) 《平成29年4月》 李文也類稱漢智: 李文也類稱漢智: 日本報音與第2 (2) 日本報音與第2 (2) 日本報音與第2 (2) 日本報音與第2 (2) 日本報音與第2 (2)	:	兼担	教授	加納 陸人 (68) 《平成29年4月》 李文忠環構演習: 李文忠環構演習: 日本報音演奏: 日本報音演奏: 日本報音演奏: 日本報音演奏: 日本報音演奏: 日本報音演奏:		兼担	教授	加納 陸人 (69) 《平成29年4月》
兼担	教授	磯山 甚一 (65) 〈平成29年4月〉	:	兼任	講師	機山 基一 (65) 〈平成29年4月〉		兼任	講師	磯山 基一 (66) 〈平成29年4月〉
								兼担	准教授	土井 雅之 (41) 《平成30年4月》 ************************************
								兼任	講師	山崎 俊明 (59) 《平成30年4月》
兼担	教授	紙 宏行 (59) <平成29年4月>	:	兼担	教授	紙 宏行 (59) <平成29年4月>		兼担	教授	紙 宏行 (60) <平成29年4月> ************************************
兼担	教授	鈴木 健司 (63) <平成29年4月> ^{総合講座VI※}								
兼担	准教授	グラハム 児夢 (63) <平成29年4月> 英米文化I (6) 英米事情I 英米文化I (6)		兼担	准教授	グラハム 児夢 (63) 〈平成29年4月〉 英米文化 I (G) 英米事情 I 英米文化 I (G)		兼担	准教授	グラハム 児夢 (64) <平成29年4月> 英米事情 I 多文化理解振論※
兼担	准教授	毎田 裕見 (48) <平成29年4月> 総合調産運業 キャリアリテラシー I 情報処理と言語 キャリアリテラシー II キャリアリテラシー II キャリアリテラシー II キャリアリテラシー II オャリアリテラシー II マーリアリテラシー II マーリアリテラシー II マーリアリテラシー II マーリアリテラシー II		兼担	准教授	亀田 裕見 (48) 〈平成29年4月〉 キャリアリテラシー I キャリアリテラシー I キャリアリテラシー I キャリアリテラシー I キャリアリテラシー I キャリアリテラシー II キャリアリテラシー II キャリアリテラシー II		兼担	准教授	亀田 裕見 (49) (49) (平成29年4月> 情報処理と言語系数を講座※ キャリアリテラシーⅢ キャリアリテラシーW
								兼担	教授	鬼山 信行 (64) <平成30年4月>
							-	兼任	教授	西澤 道知 (49) 〈平成30年4月〉
			ı L			21	ı L			

専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任 ・ 兼担 ・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月 >	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月 >
		担当授業科目名	│		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	准教授	山田 忠司 (61) <平成29年4月>	兼担	教授	山田 忠司 (61) <平成29年4月>	兼担	教授	山田 忠司 (62) 〈平成29年4月〉
		言語系総合講座※			言語系総合講座※			言語系総合講座※
兼担	准教授	舟部 淑子 (68) 〈平成29年4月〉 比較文化論※	兼担	准教授	舟部 淑子 (68) 〈平成29年4月〉 比較文化論※			
兼担	准教授	芦田川 祐子 (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41)	兼担	准教授	芦田川 祐子 (41) 《平成29年4月》 児童文学 I 外国語実地演習 I 外国語実地演習 I 外国語表地演習 I 外国語表地演習 I 外国語表地演習 I 外国語表地演習 I 外国語表地演習 I 外国語表地演習 V 外国語表地演習 V 外国語表地演習 V 外国語表地演習 V 大場 「「東京 V	兼担	准教授	芦田川 枯子 (42) 《平成29年4月》 児童文学 I 外国語集地演習 I 外国語集地演習 I 外国語集地演習 I 外国語集地演習 I 外国語集地演習 I 外国語集地演習 I 外国語東地演演習 I 外国語東地演演習 I 外国語東地演演習 I 別面
兼担	准教授	(43) 《平成29年4月> 総合講座VI※ 多次理解概論※ 比較文化論※ 情報処理と文化	兼担	准教授	(43) (43) (43) (47) (43) (44) (44) (44) (44) (44) (44) (44			
						兼担	准教授	渡辺 教子 (56) 〈平成30年4月〉 多文化理解觀論※ 比較文化論※
						兼担	教授	寺澤 浩樹 (57) 〈平成30年4月〉 情報処理と文化※
						兼担	教授	長谷川 清 (62) 〈平成30年4月〉 情報処理と文化※
						兼担	教授	星野 常夫 (68) 〈平成30年4月〉 総合課座電※
兼担	講師	三枝 優子 (44) 《平成29年4月》 日本語教育事情※ 日本語教育專書 [[編年] 日本語教育專書 [1編年] 日本語教育專書 (1) [編年] 日本語教育專書 (2) [編年]	兼担	准教授	三枝 優子 (44) 《平成29年4月> 日本語教育年情※ 日本語教育等官 I [編年] 日本語教育等官 I [編年] 日本語教育等官 I [編年]	兼担	准教授	三枝 優子 (45) 《平成30年4月> 日本語教育事情※ 日本語教育業習 [編年] 日本語教育業習 (2) [編年] 日本語教育業習 (2) [編年] 日本語教育業習 (2) [編年]
兼担	講師	森本 奈理 (40) <平成29年4月> 文学と宗教	兼担	准教授	森本 奈理 (40) <平成29年4月> 文学と宗教	兼担	准教授	森本 奈理 (41) <平成29年4月> 文学と宗教
兼担	講師	日沖 敦子 (大塚 敦子) (38) 〈平成29年4月〉 総合講座V※ 演劇論 I	兼担	講師	日沖 敦子 (大塚 敦子) (38) <平成29年4月> 総合講座V※ 演劇論Ⅰ	兼担	講師	日沖 敦子 (大塚 敦子) (39) 〈平成29年4月〉 総合講座V※ 演劇論 I

-						-		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		福田 豊穂						
		(70) <平成29年4月>						
兼担	教授							
		総合講座皿※						
					嶋野和史			嶋野 和史
					(41) <平成29年4月>			(42) <平成29年4月>
			兼担	講師		兼担	講師	
					総合講座皿※			総合講座皿※
		金子俊						
		(住田 俊) (70)						
兼担	教授	<平成29年4月>						
N/1E	7010	40. 4 -# - 14						
		総合講座 I ※						
		池田進一			池田進一			池田 進一
		(65) <平成29年4月>			(65) <平成29年4月>			(66) <平成29年4月>
兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授	
		情報基礎			情報基礎			情報基礎
-		白石 和夫			白石 和夫			白石 和夫
		(63) 〈平成29年4月〉			(63) 〈平成29年4月〉			(64) <平成29年4月>
兼担	教授	1,3950 1,3712	兼担	教授	11,725 17/12	兼担	教授	1.13000 1.1111
		総合講座Ⅲ※			総合講座皿※			総合講座皿※
		福田 はぎの			福田 はぎの			福田 はぎの
		(66) 〈平成29年4月〉			(66) 〈平成29年4月〉			(67) 〈平成29年4月〉
兼担	教授	₹平成29年4月>	兼担	教授	₹平成29年4月>	兼担	教授	〈平成29年4月>
		経済学			経済学			経済学
								*
								森元 晶文 (47)
						兼担	教授	<平成30年4月>
						****	30.10	経済学
		出井 雅彦 (63)			出井 雅彦 (63)			出井 雅彦 (64)
兼担	教授	<平成29年4月>	兼担	教授	<平成29年4月>			<平成29年4月>
N/IE	72.12	生物学 総合講座Ⅱ※	NY 15	72.12	総合講座 I ※			総合講座 I ※
		100日時年 11 次						
					豊田 健介 (41)			豊田 健介 (42)
			46.50	- A	<平成29年4月>	State Per	100 AC	<平成29年4月>
			兼任	講師	生物学	兼任	講師	生物学
					浅野 信彦 (44)			浅野 信彦 (45)
					〈平成29年4月〉			<平成29年4月>
			兼担	准教授	総合議座 1 ※	兼担	准教授	総合講座 I ※
					○日時庄 □ X			** II I
					会沢 信彦			会沢 信彦
					(51) <平成29年4月>			(52) <平成29年4月>
			兼担	教授		兼担	教授	
					総合講座Ⅱ※			総合講座Ⅱ※
					井上 清子			井上 清子
					(52) <平成29年4月>			(53) <平成29年4月>
			兼担	教授		兼担	教授	
					総合講座 I ※			総合講座 I ※
<u> </u>			<u> </u>		高井和夫			高井 和夫
					(47) <平成29年4月>			(48) 〈平成29年4月〉
			兼担	講師	→ → → → → → → → → → → → → → → → → → →	兼担	講師	→ 一人 大人
					総合講座 I ※			総合講座 I ※

専任・		氏 名	Ī	∮任・		氏 名	専任・		氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月 >	я я	・ 東担・ 東任 D別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月 >	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月 >
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
			Ī			桑原 干明 (34) <平成29年4月>			
				兼担	講師	総合講座Ⅱ※			
									清水 邦彦 (36) <平成30年4月>
							兼担	講師	総合講座 I ※
							****		小幡 章 (63) <平成30年4月>
							兼担		総合講座 I ※
** 10	*/	八藤後 忠夫 (64) <平成29年4月>							
兼担	教授	総合講座 I ※ 総合講座 VI ※							
**	#L+10	今田 晃一 (57) <平成29年4月>		*1	#L 120	今田 晃一 (57) <平成29年4月>			
兼担	教授	情報基礎 総合講座恤※		兼担	教授	情報基礎 総合講座‴※			
兼担	#L+107	手嶋 將博 (55) <平成29年4月>		兼担	#L 120	手嶋 將博 (55) <平成29年4月>	兼担	*1-1-2	手嶋 將博 (56) <平成29年4月>
水坦	教授	比較文化論※		水坦	教授	比較文化論※	***	教授	比較文化論※
兼担	教授	高橋 克已 (53) <平成29年4月>							
N/1E	73.13	総合講座VI※							
兼担	教授	山縣 朋彦 (61) 〈平成29年4月〉				山縣 朋彦 (61) <平成29年4月>			山縣 朋彦 (62) <平成29年4月>
JK12	3212	宇宙地球科学				宇宙地球科学 総合講座 I ※			宇宙地球科学 総合講座 I ※
兼担	教授	成田 奈緒子 (54) <平成29年4月>							
		総合講座 I ※							den the At-
兼担	教授	加藤 純一 (55) <平成29年4月>		兼担	教授	加藤 純一 (55) <平成29年4月>	兼任	講師	加藤 純一 (56) 〈平成30年4月〉
		スポーツと人間 I スポーツ・レクリエーション I スポーツと人間 II スポーツ・レクリエーション II				スポーツと人間 I スポーツ・レクリエーション I スポーツと人間 I スポーツ・レクリエーション I			スポーツ・レクリエーション I スポーツ・レクリエーション I
							兼任	講師	辻 教 (49) <平成30年4月>
									スポーツと人間I
							兼任	講師	高橋 宗良 (48) 〈平成30年4月〉
		hp ### TO				ho star IPP			スポーツと人間I
兼担	教授	加藤 理 (56) <平成29年4月>		兼担	教授	加藤 理 (56) <平成29年4月>	兼担	教授	加藤 理 (57) <平成29年4月>
		教育学				教育学			教育学

##	また		I as		_		士尸		I as
本部	兼担・ 兼任	職名	(年 齢) <就任(予定)年月	兼担・ 兼任	職名	(年 齢) <就任(予定)年月	兼担・ 兼任	職名	(年 齢) <就任(予定)年月
### 2			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
### 2									
### 2	****			***			****		
### 보는 1	兼担	准教授		兼担 	准教授		兼担	准教授	
本担 本担 本担 本担 本担 本担 本担 本担									
### ### ### ### ### ### #### #### ###									
### 表現	兼担	准教授	14.45.45.74	】	教授	144.45.44.74	兼担	教授	1445444
大田 本の版 大田 和歌 和歌 和歌 和歌 和歌 和歌 和歌 和									
###			(47)			(47)			(48)
###	兼担	准教授	(十成29年4月2	兼担	准教授	▽ ↑ 版29年4月ン	兼担	准教授	マール29年4月 ク
### 表示			歴史学			歴史学			歴史学
東担 東北 東北 東北 東北 東北 東北 東北				l					
#担 株の世									
## 1	兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授	
本担 本担 本担 本担 本担 本担 本担 本担			科学思想史			科学思想史 総合講座 I ※			
本担 本税 本税 本税 本税 本税 本税 本税									
数字 数字 数字 数字 数字 数字 数字 数字									
大島 雅裕 (46)	兼担	准教授	No.	】	准教授	Nr. ave	兼担	准教授	
本担 本担 本担 本担 本担 本担 本担 本担			数字			数字			数字
本担 本校 本校 本校 本担 本校 本担 本校 本担 本校 本担 本校 本校			長島 雅裕	┨	+	長島 雅裕			長島 雅裕
素担 本秋様 物理学									
	善 坦	准数塔		事担	数据		- 毎 田	粉塊	
液態 (47 (52)	NV1E	/E-7X1X	物理学	NOTE .	93.13		N/IE	49.13.	
第担 本教授 本教授 本規 本教授 本規 本教授 本規 本規 本規 本規 本担 本担 本担 本担			133.22.3			総台講座 I ※			総台講座 I ※
第担 本教授 本教授 本規 本教授 本規 本教授 本規 本規 本規 本規 本担 本担 本担 本担			渡邉 律子			渡邉 律子			渡邉 律子
素担 本数長 電動と健康 元ポーツと人間 不			(52)			(52)			(53)
連動と健康 連動と健康 連動と健康 連動と健康 連動と健康 連動と健康 連動と健康 連動と健康 三級と健康 三級と提覧 三級と健康 三級と提覧 三級と健康 三級と健康 三級と提覧 三級と健康 三級と健康 三級と提覧 三級と健康 三級と使用 三級と表を使用	兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授	
本担 本教授 本教授 本規 本教授 本担 本担 本担 本担 本担 本担 本担 本			運動と健康Ⅱ			運動と健康Ⅱ			運動と健康Ⅱ
(49)									
本参校 本参校 東担 本参校 東担 本参校 東担 本参校 東担 本参校 東									
大田 和敬	**				y		*10	سديي	
Table Tab	兼担	准教授	羊術	兼担	准教授	羊術	兼担	准教授	羊術
兼担 表担 表担 表担 表担 表担 表担 表担			大門			, 자연			大門
※担 「									
*** **						 			
The first content of Global	兼担	講師							
本担 数長 数長 数長 数長 数長 数長 数長 数	- IC 1=	PL-3 Puls				 			
**** ****			総合講座皿※			 			
**** ****									
# *									
************************************				兼担	教授		兼担	教授	
兼担 教授 教育学 教育学 教育学 教授 本担 教授 本足の第4月 本足の第4日 本足の第4						総合講座 亚※			総合講座Ⅲ※
兼担 教授 教育学 教育学 教育学 教授 本担 教授 本足の第4月 本足の第4日 本足の第4			太田 和敬	├		太田和敬			太田 和敬
兼担 教授 教育学 総合講座VI※ 兼担 教授 教育学 兼担 教授 教育学 兼担 教授 教育学 兼担 教授 收育学 兼担 教授 心理学 本代人類学 Introduction to Global Introduction to Global 兼担 教授 文化人類学 Introduction to Global 兼担 教授 文化人類学 Introduction to Global 兼担 教授 文化人類学 Introduction to Global			(68)			(68)			(69)
教育学 教授 本担 教授 本足の集4月 本見 本担 教授 本足の集4月 本見 本担 教授 本足の集4月 本見 本見 本見 本見 本見 本見 本見 本	兼担	教授	<u> </u>	兼担	教授		兼担	教授	<u> </u>
新担 教授			教育学 総合講座VIX			教育学			教育学
兼担 教授			10日時年 41次			 			
兼担 教授 (平成29年4月) 兼担 教授 (平成29年4月) 兼担 教授 (平成29年4月) 兼担 教授 (中村 博一 (56) (下 (56) (平成29年4月) (東元29年4月) (東元29年4月) 東担 教授 (東元29年4月) 東北 教授 東北 本北人類学 Introduction to Global 「Introduction to Global 東北 本北人類学 Introduction to Global 「中村 博一 《平成29年4月》 東北 教授 東北 教授 東北人類学 Introduction to Global 東北人類学 Introduction to Global 東北人類学 Introduction to Global 東北人類学 Introduction to Global 東北人教授 東北人教授 東北人類学 Introduction to Global 東北人教授 東									
 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 中村 博一 (56) (下でであります。) (56) (平成29年4月> (57) (平成29年4月> (平成29年4月> ま担 教授 次代人類学 Introduction to Global Introduction to									
中村 博一 (56)	兼担	教授		兼担	教授	 	兼担	教授	
兼担 教授 (56)			心理学			心理学			心理学
兼担 教授 (56)	-		中村 博一	├		中村 博一			中村 博一
兼担 教授 文化人類学 Introduction to Global Introduction I			(56)			(56)			(57)
Introduction to Global Introduction to Global Introduction to Global	兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授	
ormines% ormanies% ormanies%			Introduction to Global			Introduction to Global			Introduction to Global
			Studies X			Scuales/X			o.cua⊤es:%

また			±7-	- 1		± /-		
専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任 兼担 兼任 の別	旦・ 壬	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	宮田 浩二 (54) <平成29年4月> 総合講座 I ※						
		城 佳子 (59)						
兼担	教授	《平成29年4月》 総合講座 I ※						
兼担	 教授	石橋 昭良 (63) <平成29年4月>	美	担数授	石橋 昭良 (63) <平成29年4月>	兼担	 教授	石橋 昭良 (64) <平成29年4月>
		心理学 総合講座WW※			心理学 佐藤 正伸			心理学 佐藤 正伸
			*	担 教授	(49) 《平成29年4月》 総合講座巡※	兼担	教授	(50) 〈平成29年4月〉
		二村 英幸 (70) <平成29年4月>	_					
兼担	教授	心理学						
			*	担 教授	大木 桃代 (鈴木 桃代) (52) <平成29年4月>	兼担	教授	大木 桃代 (鈴木 桃代) (53) 〈平成29年4月〉
		田積御			心理学 田積 徹			心理学
兼担	教授	口恨 做 (48) <平成29年4月>	兼	担数授	田慎 1版 (48) <平成29年4月>			
		心柱子			心柱子			正木 澄江 (47)
						兼担	講師	《平成30年4月》 心理学
兼担	准教授	二宮 雅也 (39) <平成29年4月> 総合講座VI※	兼	担 准教授	二宮 雅也 (39) <平成29年4月> 総合講座VI※	兼担	准教授	二宮 雅也 (40) <平成29年4月> 総合講座VI※
***	144 +VL 177	青山 鉄平 (36) <平成29年4月>						
兼担	准教授	総合講座VI※ 衛藤 敦			衛藤 敦			衛藤 敦
兼任	講師	相原 教 (65) <平成29年4月> 情報基礎 情報D	兼	任 講師	年 株 製 (65) 《平成29年4月》 情報基礎 情報 D	兼任	講師	相原 教 (66) <平成29年4月> 情報基礎 情報 D 情報 C
兼任	講師	中村 憲治 (71) <平成29年4月> ドイツ語Ⅲ トビックで学ぶドイツ語 C ドイツ語Ⅲ	.	任 講師	中村 憲治 (71) 《平成29年4月》 ドイツ語ロ トビックで学ぶドイツ語 C ドイツ語図	兼任	講師	中村 憲治 (72) <平成29年4月>
					. / 7 999			岡田 和子 (58) 〈平成30年4月〉
						兼任	講師	ドイツ語皿

			1			-		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月 >
		担当授業科目名	1		担当授業科目名			担当授業科目名
		福西弘美	l —		福西弘美			福西弘美
		(61) 〈平成29年4月〉			(61) 〈平成29年4月〉			(62) <平成29年4月>
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		ドイツ語 I ドイツ語 II			ドイツ語 I ドイツ語 II			ドイツ語 I ドイツ語 I トピックで学ぶドイツ語 A
		丰十 初日			主十 初日			丰十 初日
		青木 詔司 (63)			青木 詔司 (63)			青木 詔司 (64)
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>
NK III	HL1 H-II-	フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ	I NIL	MAD.	フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ	N/ III	M13 P-1	フランス語 II フランス語Ⅲ
		フランス語Ⅳ			フランス語Ⅳ			フランス語Ⅳ
		弘兼 加奈子 (60)			弘兼 加奈子 (60)			弘兼 加奈子 (61)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
兼任	講師	中国語Ⅱ	兼任	講師	ch 문화 표	兼任	講師	48° T
		中国語工			中国語工			中国語Ⅱ
		佐藤 健一						
		(66) <平成29年4月>						
兼任	講師]					
		文学概論						
		上林 洋二	l		上林 洋二			上林 洋二
		(62) <平成29年4月>			(62) (平成29年4月>			(63) 〈平成29年4月〉
兼任	講師	○十成29年4月>	兼任	講師	〈十成29年4月ン	兼任	講師	○ <十成29年4月>
		言語学概論 対照言語学 II			言語学概論 対照言語学Ⅱ			言語学概論 対照言語学 II
		記号と意味			記号と意味			記号と意味
		西出 直子 (62)			西出 直子 (62)			西出 直子 (63)
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>
N/II	마바마바	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ(1)	I AKIL	마하마	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ(1)	NI.	마바마바	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語V(1)
		日本語 V (2)			日本語 V (2)			日本語 V (2)
		金井 陽子 (68)			金井 陽子 (68)			金井 陽子 (69)
**		<平成29年4月>			<平成29年4月>	***		<平成29年4月>
兼任	講師	日本語Ⅲ日本語Ⅳ	兼任	講師	日本語Ⅲ日本語Ⅳ	兼任	講師	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
		文章教育法			文章教育法			文章教育法
		野口恵子			野口 恵子			野口恵子
		(64)			(64)			(65)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		日本語教育概論 I 日本語教育概論 II			日本語教育概論 I 日本語教育概論 II			日本語教育概論 I 日本語教育概論 II
		梶谷 雄二 (62)			梶谷 雄二 (62)			梶谷 雄二 (63)
		〈平成29年4月>			〈平成29年4月〉		mar :	<平成29年4月>
兼任	講師	ヨーロッパ事情 I ヨーロッパの文学 I	兼任	講師	ヨーロッパ事情 I ヨーロッパの文学 I	兼任	講師	ヨーロッパ事情 I ヨーロッパの文学 I
		ヨーロッパ文化研究Ⅱ 社会と文学Ⅱ			ヨーロッパ文化研究 Ⅱ 社会と文学 Ⅱ			ヨーロッパの文学 I ヨーロッパ文化研究 I 社会と文学 I
		菅谷 有子			菅谷 有子			菅谷 有子
		(68) <平成29年4月>			(68) <平成29年4月>			(69) <平成29年4月>
		日本文化基礎 I			日本文化基礎 I			日本文化基礎 I
兼任	講師	日本語 I 日本語教育学Ⅲ	兼任	講師	日本語 I 日本語教育学Ⅲ	兼任	講師	日本語 I 日本語教育学Ⅲ 日本文化基礎 II
		日本文化基礎 Ⅱ 日本語 Ⅱ			日本文化基礎Ⅱ 日本語Ⅱ			日本文化基礎Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語教育学Ⅳ
		日本語教育学IV 日本語教育法 I			日本語教育学IV 日本語教育法 I			日本語教育法 I 日本語教育教材研究 I
		日本語教育教材研究 I 日本語教育学 V			日本語教育教材研究 I 日本語教育学 V			日本語教育学V 多文化理解概論※
		ディビット ブラッドリ			ディビット ブラッドリ			ディビット ブラッドリ
		(66) <平成29年4月>			(66) <平成29年4月>			(67) <平成29年4月>
兼任	講師	Oral Communication I	兼任	講師		兼任	講師	
		Oral Communication II 英米事情 II			Oral Communication I Oral Communication II			Oral Communication I Oral Communication II 茶半車棒 II
		Reading II			英米事情Ⅱ			英米事情Ⅱ
		藤澤 恒夫 (52)			藤澤 恒夫 (52)			藤澤 恒夫 (53)
		(52) <平成29年4月>			(52) <平成29年4月>			(93) <平成29年4月>
兼任	講師	English for Specific	兼任	講師	English for Specific	兼任	講師	English for Specific
		Purposes II			Purposes II			Purposes II
	<u> </u>	I		L				<u> </u>

### ### ### #### ####################	専任・		
#任 講師	兼担・ 兼任	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月 >
#任 講師			
兼任 講師			
# 任			<平成29年4月>
# 任 講師 (字多村 香) (字9年4月) 東京 (52) マー成29年4月 フラン文字に (52) マー成29年4月 フラン文字に (55) マー成29年4月 フラン文字に (55) マー成29年4月 フリア語 (55) マー成29年4月 フリア語 (47) フリア語 (47) フリア語 (47) フリア語 (47) ス (47)	兼任	講師	フランス語皿 トピックで学ぶフランス語 B
兼任 講師			
兼任 講師			(52)
#任 講師	兼任	講師	
(58)			英米文化特講 II (G)
#任 講師			(58)
#任 講師	事 红	誰亦	
# 任 講師	AK II	마유비	比較文学 I
#任 講師 (中村 久仁子) ((中村 久仁子) ((55)			フランス語Ⅳ
#任 講師			山邑 久仁子
兼任 講師			(55)
#任 講師	兼任	講師	
兼任 講師			ヨーロッパ文化論
#任 講師 (60) (60) (70) (ヨーロッパの文字 II ヨーロッパ事情 II
 兼任 講師 コリア語 I コリア語 I コリア語 I マロス29年4月 > 単位(47) マー成29年4月 >			
兼任 講師 コリア語 I 年報 A 「			
#任 講師	兼任	講師	
兼任 講師			コリア語Ⅲ トピックで学ぶコリア語 B
#任 講師 (47) (47) (平成29年4月) (47) (平成29年4月) 情報 A 宮部 真由美 (44) (44) (47) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58			

#任 講師 常報 A 常報 A			
(44)	兼任	講師	
#任 講師 (44) 《平成29年4月》 情報基礎情報活用 田部井 圭子 (58) 《平成29年4月》 日本語教育学 II 日本語教育法 II 日本語教育 (49) 《平成29年4月》 「(53) 「平成29年4月》 「(54) 「下で Specific Purposes II 下入 珠緒 (49) 《平成29年4月》 「中で学ぶ英語 A ドピックで学ぶ英語 A 「加藤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			情報A
兼任 講師 (44) 《平成29年4月> 情報基礎 情報活用 田部井 圭子 (58) 《平成29年4月> 日本語教育学Ⅱ日本語教育法Ⅱ 日本語教育法Ⅱ 部 (49) 《平成29年4月> 講師 兼任 講師 兼任 講師 兼任 講師 末任 講師 東西 (53) 『中華 (53) 『中華 (54) 『中華 (宮部 直中華
兼任 講師 情報基礎 情報基礎 情報基礎 情報基礎 情報基礎 情報基礎 情報			(44)
#任 講師 田部井 圭子 (58)	兼任	講師	
(58)			情報基礎 情報活用
 (平成29年4月>) 日本語教育学 I 日本語教育学 I 日本語教育学 I 日本語教育学 I 日本語教育学 I 日本語教育法 I 日本語教育 I 日本語教育 I 日本語教育 I 日本語教育 I 日本語教育 I 日本語教育 I 日本語教育学 I 日本語教育			
## 日本語教育学 I 日本語教育学			
# 任 講師	兼任	講師	日本語教育学Ⅰ
# 任 講師			日本語教育学Ⅱ
#任 講師			日本語教育法Ⅱ
兼任 講師 映画論 トピックで学ぶ中国語A トピックで学ぶ中国語B ペデロサイモン ブンギ (53) 《平成29年4月> がっている。 マ平成29年4月> のral Communication II Reading IV 素実文化物験に1 (0) 素実文化物験に1 (0) を確認がまままます。 大久 珠緒 《49) 《平成29年4月> ・ピックで学ぶ英語A ・ピックで学ぶ英語A 本条緒子 (46) 《平成29年4月> ・ 中成29年4月> 情報基礎			(49)
映画論 トピックで学ぶ中国語A トピックで学ぶ中国語B 《デロ サイモン ブンギ (53) 《平成29年4月> のral Communication II Reading IV アード・レックで学ぶ英語D English for Specific Purposes II 大久 珠緒 (49) 《平成29年4月> 兼任 講師 トピックで学ぶ英語A 林 奈緒子 (加藤 奈緒子) (46) 《平成29年4月> 兼任 講師			
・ピックで学ぶ中国語A トピックで学ぶ中国語B ペデロ サイキン ブンギ (53) 《平成29年4月> oral Communication II Reading IV 系米文化特別 I (3) トピックで学ぶ英語A 大久 珠緒 (49) 《平成29年4月> 兼任 講師 本院29年4月> 大の 珠緒子 (加藤 奈緒子) (46) 《平成29年4月> 情報基礎	兼任	講師	映画論
#任 講師			吹四端 トピックで学ぶ中国語A トピックで学ぶ中国語R
#任 講師			
((53)
東央北北特庫 (金) 東央北北特庫 (金) 東大久 珠緒	兼任	護師	
### ### #############################	-1011	Pulls Fulls	Reading IV 革米文化特達 I (G)
(49) < 平成29年4月> 講師 トピックで学ぶ英語A 林 奈緒子 (加藤 奈緒子) (46) < 平成29年4月> 情報基礎			トビックで学ぶ英語D English for Specific Purposes Ⅲ
兼任 講師 トピックで学ぶ英語A 林 奈緒子 (加藤 奈緒子) (46) (マア成29年4月) 情報基礎			
トピックで学ぶ英語A 林 奈緒子 (加藤 奈緒子) (46) 《平成29年4月> 情報基礎	* <i>1</i> -	=#± 4~	
(加藤 奈緒子) (46) (平成29年4月> 情報基礎	兼仕	講師	トピックで学ぶ英語A
(加藤 奈緒子) (46) (平成29年4月> 情報基礎			林奈緒子
兼任 講師 <平成29年4月> 情報基礎			(加藤 奈緒子)
情報基礎	兼任	護師	
	AV IT	마마마	

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
兼任	講師	畑中 敏夫 (68) <平成29年4月> フランス語Ⅲ トビックで学ぶフランス語 B
兼任	講師	佐倉 香 (宇多村 香) (52) <平成29年4月>
		英語ライティング演習 トピックで学ぶ英語B 英米文化特講 I (G) 山崎 俊明 (58)
兼任	講師	<平成29年4月> フランス語Ⅱ 比較文学 I トピックで学ぶフランス語 C フランス語Ⅳ
兼任	講師	山邑 久仁子 (中村 久仁子) (55) <平成29年4月> ヨーロッパの文学II ヨーロッパ事情II
兼任	講師	谷澤 恵介 (60) 〈平成29年4月〉 コリア語 I コリア語 II トピックで学ぶリア語 B
兼任	講師	和氣 愛仁 (47) 〈平成29年4月〉
兼任	講師	宮部 真由美 (44) 〈平成29年4月〉 情報基礎 情報活用
兼任	講師	田部井 圭子 (58) 《平成29年4月》 日本語教育学日日本語教育学日日本語教育学日日本語教育法日日本語教育法日
兼任	講師	舘 けさみ (49) 〈平成29年4月〉 映画論 トピックで学ぶ中国語A トピックで学ぶ中国語B
兼任	講師	ペデロ サイモン ブンギ (53) <平成29年4月> Reading IV 果米文は特賞 I (8) トピックで学ぶ英語D English for Specific Purposes II
兼任	講師	大久 珠緒 (49) <平成29年4月>
兼任	講師	林 奈緒子 (加藤 奈緒子) (46) 〈平成29年4月〉 情報基礎 情報活用

-				
		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
				担当授業科目名
1	Ī			畑中 敏夫 (69)
ł				<平成29年4月>
		兼任	講師	フランス語Ⅲ トピックで学ぶフランス語 B
1	Ī			佐倉 香 (宇多村 香)
l				(53) (平成29年4月>
1		兼任	講師	
l				英語ライティング演習 トピックで学ぶ英語B 英米文化特講 I(G)
l				(59) <平成29年4月>
1		兼任	講師	フランス語 II 比較文学 I
				トピックで学ぶフランス語 C フランス語IV 山邑 久仁子
l				(中村 久仁子) (56)
l		兼任	講師	<平成29年4月>
			M1781	ヨーロッパの文学II ヨーロッパ事情 II
1	İ			谷澤 恵介 (61)
ł		兼任	講師	<平成29年4月>
		米 ഥ	ണ	コリア語 I コリア語皿 トビックで学ぶコリア語 B
l				
l				
l				
l				
ł	ŀ			
l				
l				
				田部井 圭子 (59) <平成29年4月>
l		兼任	講師	日本語教育学 I 日本語教育学 II
				日本語教育学Ⅱ 日本語教育法 I 日本語教育法 II
1	ŀ			舘 けさみ
1				(50) 〈平成29年4月〉
l		兼任	講師	映画論
				トピックで学ぶ中国語A トピックで学ぶ中国語B
l				ペデロ サイモン ブンギ (54) <平成29年4月>
l		兼任	講師	Reading W
				英米文化特講 I (G) トピックで学ぶ英語D English for Specific Purposes II
				大久 珠緒 (50) <平成29年4月>
l		兼任	講師	○ <平成29年4月>
				トピックで学ぶ英語A
	-			林 奈緒子 (加藤 奈緒子)
		兼任	講師	(47) <平成29年4月>
		AK II	明帥	情報基礎情報活用
J	L			

士に	_		± /-			士に		
専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	キン エン (48) <平成29年4月> 中国語 I	兼任	講師	キン エン (48) <平成29年4月> 中国語 I	兼任	講師	キン エン (49) <平成29年4月> 中国語 I
兼任	講師	田村 新 (38) <平成29年4月> アジア文化研究 I	兼任	講師	田村 新 (38) <平成29年4月> アジア文化研究 I	兼任	講師	田村 新 (39) <平成29年4月> アジア文化研究 I
		東アジア共生論 東アジア交流史			東アジア共生論 東アジア交流史			東アジア共生論 東アジア交流史
兼任	講師	森下 雅子 (53) 《平成29年4月》 日本語教育学 I 日本語教育学 I 日本語教育学 I 目本語教育学 I 言語を心理 I 言語	兼任	講師	森下 雅子 (53) 《平成29年4月》 日本語教育学 I 日本語教育学 I 日本語教育学 I 日本語教育学 I 目本語教育学 I 目素語を心理 I 言語と心理 I	兼任	講師	森下 雅子 (54) (54) 日本語教育学 I 日本語教育学 I 日本語教育学 I 目本語教育学 I 目本語教育学 I 言語を心理 I 言語を心理 I
兼任	講師	舘野 由香理 (35) <平成29年4月> 中国語Ⅲ	兼任	講師	舘野 由香理 (35) <平成29年4月> 中国語Ⅲ	兼任	講師	館野 由香理 (36) 〈平成29年4月〉
		末田 美香子 (49) <平成29年4月>			末田 美香子 (49) <平成29年4月>			末田 美香子 (50) <平成29年4月>
兼任	講師	日本語教育学Ⅲ 日本語教育学Ⅳ 日本語教育法Ⅱ	兼任	講師	日本語教育学Ⅲ 日本語教育学Ⅳ 日本語教育法Ⅱ	兼任	講師	日本語教育学Ⅲ 日本語教育学Ⅳ 日本語教育法Ⅱ
兼任	講師	李 善雅 (45) <平成29年4月> コリア語で学ぶコリア語 C	兼任	講師	李 善雅 (45) <平成29年4月> コリア語で学ぶコリア語 [トピックで学ぶコリア語 C	兼任	講師	李 善雅 (46) <平成29年4月> コリア語で学ぶコリア語 C
兼任	講師	徳植 俊之 (58) <平成29年4月> 日本語の技能総合演習Ⅱ	兼任	講師	徳植 俊之 (58) <平成29年4月> 日本語の技能総合演習Ⅱ	兼任	講師	徳植 俊之 (59) <平成29年4月> 日本語の技能総合演習 II
兼任	講師	藤井 仁奈 (鈴木 仁奈) (38) <平成29年4月>	兼任	講師	藤井 仁奈 (鈴木 仁奈) (38) <平成29年4月>	兼任	講師	藤井 仁奈 (鈴木 仁奈) (39) <平成29年4月>
		文学 言語と文化 I トピックで学ぶ英語C 小島 三多			文学 言語と文化 I トピックで学ぶ英語C 小島 三多			文学 言語と文化 I トピックで学ぶ英語C 小島 三多
兼任	講師	インス ボス (50) <平成29年4月> アジア事情 I Asian Studies I Asian Studies I アジア事情 II トピックで学ぶ中国語C	兼任	講師	・ 「ラーン (50) <平成29年4月> アジア事情 I Asian Studies I Asian Studies I アジア事情 I トピックで学ぶ中国語C	兼任	講師	インス インス インス インス インス インス インス インス
兼任	講師	奴田原 諭 (43) <平成29年4月>	兼任	講師	奴田原 諭 (43) < 平成29年4月>	兼任	講師	奴田原 諭 (44) <平成29年4月>
		情報基礎情報C 情報活用 現代文化論			情報 C 情報活用 現代文化論 文学 文学 教諭			情報基礎 情報活用 現代文化論 文学 文学集論
兼任	講師	関谷 由美子 (70) <平成29年4月> 社会と文学 I	兼任	講師	関谷 由美子 (70) <平成29年4月> 社会と文学 I			
兼任	講師	志村 惠子 (63) 《平成29年4月》 ヨーロッパの諸島 I Reading III Reading III Figure Special Courter and Tradition ヨーロッパの諸島 II four Guide English for Special Topics in Career English Reading I	兼任	講師	志村 惠子 (63) 《平成29年4月> ヨーロッドの書語 I Reading III Brading III ture and Tradition ヨーロッドの書語 I English for Secofic Purposes I Tour Guide English Special Topics in Career English	兼任	講師	志村 恵子 (64) 《平成29年4月> ヨーロッパの書語 I Reading III Apparese Culture and Tradition ヨーロッパの書話 I Four Guide English Special Topics in Career English

			1					
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
				i –	進谷 真由美			進谷 真由美
					(34) <平成29年4月>			(35) 〈平成29年4月〉
					V 1 100== 1 1000			711111111111111111111111111111111111111
			兼任	講師	Reading I	兼任	講師	Reading I
								浅野 明代
								(66) 〈平成30年4月〉
						兼任	講師	C 1 MC00-1712
								English for Specific Purposes I English for Academic Purposes
		白 尚憙 (57)			白 尚憙 (57)			白 尚憙 (58)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		コリア語 I トピックで学ぶコリア語 A コリア語で学ぶコリア語Ⅲ			コリア語Ⅱ トピックで学ぶコリア語 A コリア語で学ぶコリア語Ⅲ			コリア語II トピックで学ぶコリア語 A
		コリア語で子ふコリア語皿			コリア語で子かコリア語皿			コリア語で学ぶコリア語皿
		山田 七恵			山田 七恵			
		(大谷 七恵) (35)			(大谷 七恵) (35)			
36.1-		<平成29年4月>			<平成29年4月>			
兼任	講師		兼任	講師				
		English for Academic Purposes 英語ライティング演習			English for Academic Purposes			
		X1117177X1						
		スティーブン ドーラン		1	スティーブン ドーラン			
		(55) <平成29年4月>			(55) <平成29年4月>			
兼任	講師	(17920 1777	兼任	講師	V 1 /2/20 1 1/1/2			
		Presentation & Debate			Presentation & Debate			
								アンソニー フェントン
								(59) 〈平成29年4月〉
						兼任	講師	C1 MCC-1712
								Presentation & Debate English for Academic Purposes Communicative English II (8)
								Communicative English II (8)
		リネット エリー			リネット エリー			リネット エリー
		(57) 〈平成29年4月〉			(57) 〈平成29年4月〉			(58) 〈平成29年4月〉
兼任	講師	▽ 一成29年4月ン	兼任	講師	▽〒	兼任	講師	▽ 一成29年4月ン
×1111 112	HIT HIT	Oral Communication I Oral Communication II	J	HIT H-II	Oral Communication I Oral Communication II	71111111	HIT H-I	Oral Communication I Oral Communication II Communicative English I (6)
		Communicative English I (6) English for Specific Purposes II			Communicative English I (G) English for Specific Purposes II			English for Specific Purposes II
		新田 小雨子			新田 小雨子			新田 小雨子
		(46) <平成29年4月>			(46) <平成29年4月>			(47) 〈平成29年4月〉
		▽十成29年4月ン			▽十成29年4月ン			▽十成29年4月ン
兼任	講師	対照言語学 I	兼任	講師	対照言語学 I	兼任	講師	対照言語学 I
		日本語教育教材研究Ⅱ			日本語教育教材研究Ⅱ			日本語教育教材研究Ⅱ
		田口 みゆき		1	田口みゆき			
		(42) <平成29年4月>			(42) <平成29年4月>			
兼任	講師	\ 1 /%LV - 77//	兼任	講師	\ 1,%LV-TTD/			
		日本語Ⅰ			日本語I			
		日本語Ⅱ			日本語Ⅱ			
		鑓水 兼貴	-		鑓水 兼貴			鑓水 兼貴
		(45) <平成29年4月>			(45) <平成29年4月>			(46) 〈平成29年4月〉
兼任	講師	\ 1 /WEV - 77/	兼任	講師	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	兼任	講師	\ 1,%EV-77//
		言語学			言語学			言語学
		下谷内 奈緒		1	下谷内 奈緒			下谷内 奈緒
		(湯澤 奈緒)			(湯澤 奈緒)			(湯澤 奈緒)
	(41) <平成29年4月>			(41) 〈平成29年4月〉			(42) <平成29年4月>	
兼任	講師	国際学	兼任	講師	国際学	兼任	講師	
		国際関係論 I 国際関係論 I			国際関係論 I 国際関係論 I			国際関係論 I 国際関係論 II
		国際教育論			国際教育論			国際教育論
				1				***
								中村 長史 (57)
								<平成30年4月>
						兼任	講師	
								国際学

専任・		l - 5	専任・			専任・		l - 5
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) (末 (予定)年月 (本)	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) (末 (予定)年月 (本)
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		柳柳子			柳柳子			柳柳子
		(51) 〈平成29年4月〉			(51) 〈平成29年4月〉			(52) 〈平成29年4月〉
兼任	講師	(十成29年4月2	兼任	講師	マール29年4月 ク	兼任	講師	(十成29年4月2
		コリア語Ⅳ			コリア語Ⅳ			コリア語Ⅳ
		大倉 直子			大倉 直子			
		(50) 〈平成29年4月〉			(50) <平成29年4月>			
兼任	講師	eLearning III	兼任	講師	eLearning III			
		English for Academic Purposes			English for Academic Purposes			
		言語と文化Ⅱ 英語ライティング演習			言語と文化Ⅱ			
		笠原 園子 (48)			笠原 園子 (48)			笠原 園子 (49)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
兼任	講師	Pronunciation Clinic	兼任	講師	Pronunciation Clinic	兼任	講師	
		English for Specific Purposes I			English for Specific Purposes I			Pronunciation Clinic
								藤野 佳子
					I			(49) <平成30年4月>
						兼任	講師	English for Specific
								Purposes I eLearning II
		山下 浩一郎			山下、浩一郎			山下 浩一郎
		(47) <平成29年4月>			(47) 〈平成29年4月〉			(48) <平成29年4月>
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		日本語の技能総合演習Ⅰ			日本語の技能総合演習 I 総合講座 V ※			日本語の技能総合演習 I 総合講座 V ※
		사후 수도			北自士桥			小自 十杯
		北島 大悟 (41)			北島 大悟 (41)			北島 大悟 (42)
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>
ボロ	때마마	中国語IV		研训	中国語IV	* 1	神神	中国語IV
								1 1111111111111111111111111111111111111
		新井 卓治			新井 卓治			新井 卓治
		(49) <平成29年4月>			(49) <平成29年4月>			(50) <平成29年4月>
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		アジアの言語 I アジアの言語 II			アジアの言語 I アジアの言語 II			アジアの言語 I アジアの言語 II
		工 彗琴			工 彗环			工 華琴
		王 慧琴 (54)			王 慧琴 (54)			王 慧琴 (55)
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>
本は	바마바	中国語で学ぶ中国語 I 中国語で学ぶ中国語 II		마하마	中国語で学ぶ中国語 I 中国語で学ぶ中国語 II	* 1	마바마바	中国語で学ぶ中国語 I 中国語で学ぶ中国語 II
		中国語で学ぶ中国語Ⅲ			中国語で学ぶ中国語皿			中国語で学ぶ中国語Ⅲ
		近藤 美紀			近藤 美紀			
		(36) <平成29年4月>			(36) <平成29年4月>			
兼任	講師		兼任	講師				
		トピックで学ぶフランス語 A			トピックで学ぶフランス語 A			
-								前山 悠
								(36)
						兼任	講師	<平成30年4月>
						Pile lake		トピックで学ぶフランス語 Å
		橋本 由紀子			橋本 由紀子			橋本」由紀子
		(45) <平成29年4月>			(45) <平成29年4月>			(46) <平成29年4月>
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		ドイツ語Ⅲ トピックで学ぶドイツ語 B			ドイツ語皿 トピックで学ぶドイツ語 B		-	ドイツ語Ⅲ トピックで学ぶドイツ語 B
		ドイツ語IV			トピックで学ぶドイツ語 B ドイツ語IV			ドイツ語IV
		ポール カレンダー			ポール カレンダー			ポール カレンダー
		(51) <平成29年4月>			(51) 〈平成29年4月〉			(52) <平成29年4月>
兼任	講師	1.134	兼任	講師	11117	兼任	講師	1.1345 (17)12
水吐	마유테니	Presentation & Debate Communicative English II (G)	末位	마무비	Presentation & Debate Communicative English II (G)	米江	마음비	Presentation & Debate English for Specific Purposes III
		English for Specific Purposes III			English for Specific Purposes III			Ligish for Specific Purposes III
		ニノ神 正路			ニノ神 正路			ニノ神 正路
		(41)			(41)			(42)
兼任	講師	<平成29年4月> 日本文化基礎 I	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>
*/N III	14.4 14.11	日本文化基礎 II 日本語教育法 III	N/II	יוינו ליונו	日本文化基礎 I 日本文化基礎 I 日本 5 本 5 本 5 本 5 本 5 本 5 本 5 本 5 本 5 本 5	AK III	MA HILI	日本文化基礎 I 日本文化基礎 II 日本語教育法Ⅲ
		日本語教育実習Ⅲ 総合講座Ⅳ※			日本語教育法Ⅲ 日本語教育実習Ⅲ			日本語教育法Ⅲ 日本語教育実習Ⅲ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					菊地 優美			菊地 優美
					(29) <平成29年4月>			(30) <平成29年4月>
			兼任	講師	(1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	兼任	講師	C1780=0 1 1772
					総合講座Ⅳ※			総合講座Ⅳ※
		山内 由起人			山内 由起人			山内 由起人
		(山内 由起夫) (65)			(山内 由起夫) (65)			(山内 由起夫) (66)
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>
ボエ	יוים ניום	キャリアデザイン論	ALL	יוים ניום	キャリアデザイン論	木口	바마바	編集出版の基礎
		編集出版の基礎 編集出版の展開			編集出版の基礎 編集出版の展開			編集出版の展開 社会と文学 I
		THE PERSON OF TH			WHEN THE STREET			
								来代 美佳 (49)
								<平成30年4月>
						兼任	講師	
								キャリアデザイン論
		須賀 真以子 (36)						
		<平成29年4月>						
兼任	講師							
		文学						
		寄川 真弓 (52)			寄川 真弓 (52)			寄川 真弓 (53)
		<平成29年4月>			〈平成29年4月〉			<平成29年4月>
兼任	講師	ドイツ語 I	兼任	講師	ドイツ語 I	兼任	講師	It could be
		ドイツ語 II トピックで学ぶドイツ語 A			ドイツ語Ⅱ トピックで学ぶドイツ語 A			ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語で学ぶドイツ語 II
		ドイツ語で学ぶドイツ語Ⅱ			ドイツ語で学ぶドイツ語Ⅱ			
		松居 辰則 (54)			松居 辰則 (54)			松居 辰則 (55)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		教育工学 I 教育工学 II			教育工学 I 教育工学 II			教育工学 I 教育工学 II
		丸島 歩 (33)						
		<平成29年4月>						
兼任	講師	日本語教育学 I						
		日本語教育学Ⅱ 音声教育法						
		B P W H W						
					末田 美香子 (49)			末田 美香子 (50)
					<平成29年4月>			<平成29年4月>
			兼任	講師	D+8644	兼任	講師	D+86444
					日本語教育学 I 日本語教育学 II			日本語教育学 I 日本語教育学 I
					高橋 恵利子 (48)			高橋 恵利子 (49)
					<平成29年4月>			<平成29年4月>
			兼任	講師		兼任	講師	
					音声教育法			音声教育法
		本店 ザサ			本店 班井	 		茶匠 ザサ
		菅原 雅枝 (53)			菅原 雅枝 (53)			菅原 雅枝 (54)
	=#-1-	<平成29年4月>			<平成29年4月>		=#-1-	<平成29年4月>
兼任	講師	日本語教育特講 I	兼任	講師	日本語教育特講 I	兼任	講師	日本語教育特講 I
		日本語教育特講Ⅱ			日本語教育特講Ⅱ			日本語教育特講Ⅱ
		13 H #7			C1++ #7	<u> </u>		E3 # ## 7
		臼井 雅子 (55)			臼井 雅子 (55)			臼井 雅子 (56)
		<平成29年4月>	1 14.4-		<平成29年4月>	34.6-		<平成29年4月>
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法
		三森 ちかし			三森 ちかし	 		三森 ちかし
		(51)			(51)			(52)
歩け	き並んエ	<平成29年4月>	#14	=無6平	<平成29年4月>	# 17	主並が工	<平成29年4月>
兼任	講師	非 込帶	兼任	講師	五公常	兼任	講師	Th: A ===
		政治学			政治学			政治学
		小川 治雄			小川 治雄			小川 治雄
		(64)			(64)			(65)
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>
∧k II	마하미비	化学	ALC	District Color	化学	AK III	마유미비	化学
		10.7			107			107
		l .	ı		1	<u> </u>		!

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		奥野 誠	1 —		奥野 誠			
		(69) 〈平成29年4月〉			(69) <平成29年4月>			
兼任	講師	1177211777	兼任	講師	117722 1 777			
		生物学 総合講座Ⅱ※			生物学			
					小野里 美帆 (46)			小野里 美帆 (47)
					<平成29年4月>			<平成29年4月>
			兼担	教授		兼担	教授	
					総合講座Ⅱ※			総合講座Ⅱ※
			!	-	太郎良 信			太郎良 信
					(65)			(66)
				教授	<平成29年4月>	兼担	教授	<平成29年4月>
				我较			秋坂	
					総合講座Ⅱ※			総合講座Ⅱ※
			l		葉養 正明			葉養 正明
					(68) <平成29年4月>			(69) 〈平成29年4月〉
			· 兼担	教授	V 1 100 - 1717	兼担	教授	V 1 100 - 1717
					総合講座Ⅱ※			総合講座Ⅱ※
		大石 昇 (60)			大石 昇 (60)			大石 昇 (61)
		<平成29年4月>]		<平成29年4月>			<平成29年4月>
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		生物学			生理学			生理学
		板倉 稔	l ⊢		板倉 稔			板倉 稔
		(62)			(62)			(63)
兼任	講師	<平成29年4月>		講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>
711112	HIT HIT	音楽		LITTE-IT	音楽	7111111	MIT B-1	音楽
		尾花 英昭	i		尾花 英昭			尾花 英昭
		(60) <平成29年4月>			(60) <平成29年4月>			(61) <平成29年4月>
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		音楽			音楽			音楽
		米澤 朋英	!		米澤 朋英			米澤 朋英
		(51)			(51)			(52)
兼任	講師	<平成29年4月>		講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>
NK II	HIT HIT	情報基礎 教育工学 I	N/L	LITTE-IT	情報基礎 教育工学 I	N/ II	MIT B-II	情報基礎 教育工学 I
		教育工学Ⅱ			教育工学Ⅱ			教育工学Ⅱ
		辻 敦			辻 敦			辻 敦
		(49) <平成29年4月>			(49) <平成29年4月>			(50) 〈平成29年4月〉
兼任	講師		兼任	講師	- 10 1	兼任	講師	
		スポーツと人間 I スポーツと人間 II			スポーツと人間 I スポーツと人間 II			スポーツと人間 I スポーツと人間 II
		熊谷 紀子	. ⊢		熊谷 紀子			熊谷 紀子
		(57)			(57)			(58)
兼任	講師	<平成29年4月>		講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>
NIT.	마카마	運動と健康I	I AKIT	DES END	運動と健康I	NIT.	마카마바	運動と健康Ⅰ
		運動と健康Ⅱ			運動と健康Ⅱ			運動と健康Ⅱ
		大金 薫	1					
		(38) <平成29年4月>]					
兼任	講師							
		総合講座Ⅱ※						
			∤		小倉 隆一郎	 		小倉 隆一郎
					(66)			(67)
			兼任	教授	<平成29年4月>	兼任	教授	<平成29年4月>
				1000	総合講座 I ※	NA LE	10.10	総合講座 I ※
		片山 舒康 (70)						
		(70) <平成29年4月>]					
兼任	講師							
		生態学						
<u> </u>			ı L			<u> </u>		

また						士に		I
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	豊田 健介 (41) 〈平成29年4月〉 生態学	兼任	講師	豊田 健介 (42) 〈平成29年4月〉
兼任	講師	清水 洋貴 (41) 《平成29年4月》 倫理学 哲学	兼任	講師	清水 洋貴 (41) <平成29年4月> 倫理学 哲学	兼任	講師	清水 洋貴 (42) 〈平成29年4月〉 倫理学 哲学
兼任	講師	西山 悦子 (62) 〈平成29年4月〉 総合講座 I ※						
兼任	講師	松永 修司 (33) <平成29年4月> 運動と健康 I 運動と健康 I	兼任	講師	松永 修司 (33) <平成29年4月> 運動と健康 I 運動と健康 I	兼任	講師	松永 修司 (34) <平成29年4月> 運動と健康 I 運動と健康 I
兼任	講師	青木 己奈 (29) <平成29年4月> 運動と健康 I 運動と健康 I	兼任	講師	青木 己奈 (29) <平成29年4月> 運動と健康 I 運動と健康 I	兼任	講師	青木 己奈 (30) <平成29年4月> 運動と健康 I 運動と健康 I
兼任	講師	土井 清美 (40) <平成29年4月>						
			兼任	講師	宇田川 彩 (32) 〈平成29年4月〉			
						兼任	講師	大坪 玲子 (50) 《平成30年4月》
兼任	講師	鵜澤 和彦 (56) 〈平成29年4月〉	兼任	講師	鵜澤 和彦 (56) 〈平成29年4月〉	兼任	講師	鵜澤 和彦 (57) 〈平成29年4月〉
兼任	講師	西村 真理子 (50) 〈平成29年4月〉	兼任	講師	西村 真理子 (50) 〈平成29年4月〉			
						兼任	講師	神坂 亮一 (47) 〈平成30年4月〉
兼任	講師	高橋 珠州彦 (42) 〈平成29年4月〉						
			兼担	准教授	三木 一彦 (46) 〈平成29年4月〉 地理学	兼担	准教授	三木 一彦 (47) 〈平成29年4月〉 地理学

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
兼任	講師	笠原 正宏 (57) <平成29年4月> 情報基礎 情報E 情報E 情報E	兼任	講師	笠原 正宏 (57) <平成29年4月> 情報基礎 情報B 情報B	•	兼任	講師	笠原 正宏 (58) <平成29年4月> 情報基礎 情報E 情報E 情報E
兼任	講師	\$\frac{\text{\$\exititt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\tint{\$\text{\$\exititt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\}\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\tex	兼任	講師	鈴木 賢男 (54) <平成29年4月> 情報基礎 情報B 情報活用				
							兼任	講師	石岡 綾香 (32) <平成29年4月> 情報基礎 情報活用
兼任	講師	久保田 幸子 (62) 〈平成29年4月〉 情報基礎 情報D 情報活用	兼任	講師	久保田 幸子 (62) 〈平成29年4月〉 情報基礎 情報D 情報活用		兼任	講師	久保田 幸子 (63) 〈平成29年4月〉 情報基礎 情報D 情報活用
兼任	講師	立花 隆介 (60) 〈平成29年4月〉 社会学	兼任	講師	立花 隆介 (60) 〈平成29年4月〉 社会学		兼任	講師	立花 隆介 (61) 〈平成29年4月〉 社会学
兼任	講師	井上 知樹 (48) <平成29年4月> 法律学	兼任	講師	井上 知樹 (48) 〈平成29年4月〉 法律学		兼任	講師	井上 知樹 (49) <平成29年4月> 法律学

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼社、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

【平成29年度】

```
職位変更のため、糸井江美准教授を教授に変更。
職位変更のため、山田忠司准教授(兼担)を教授(兼担)に変更。
職位変更のため、三枝優子講師(兼担)を准教授(兼担)に変更。
職位変更のため、森本奈理講師(兼担)を准教授(兼担)に変更。
職位変更のため、中本敬子准教授(兼担)を教授(兼担)に変更。
職位変更のため、長島雅裕准教授(兼担)を教授(兼担)に変更。
職位変更のため、磯山甚一教授(兼担)を講師(兼任)に変更。
授業内容充実のため、「英語ライティング演習」の担当者に藤上隆治准教授を追加。
機能変素のため、「発語ライティング演習」の担当者に藤上隆治准教授を追加。
授業内容充実のため、「ヨーロッパ文化論」の担当者を山邑久仁子(中村久仁子)講師(兼任)から山川智子准教授に変更。
授業内容充実のため、「多文化理解概論※」の担当者をグラヴィアニ・ジャン・フランソワ准教授から山川智子准教授に変更。
任用辞退のため、「文学概論」の担当者を佐藤健一講師(兼任)から以田原論講師(兼任)に変更。
接業内容充実のため、「Fleading II」の担当者をディビット・ブラッドリ講師(兼任)からリチャード・ローガン教授に変更。
接業内容充実のため、「Oral Communication II」の担当者をペデロ サイモン ブンギ講師(兼任)からリチャード・ローガン教授に変更。
授業内容充実のため、「Reading I」の担当者を志村恵子講師(兼任)から澁谷真由美講師(兼任)に変更。
授業内容充実のため、「英語ライティング演習」の担当者を山田七恵(大谷七恵)講師(兼任)、大倉直子講師(兼任)から
は来げるルスシンにが、「そにカーバーフンルョンの宣士は、日田じむ、バロじむが高が、本は、、八角直が

藤上陰治権教授、グラヴィアニ・ジャン・フランソワ准教授に変更。

任用辞退のため、「日本語教育学Ⅰ」の担当者を丸島歩講師(兼任)から末田美香子講師(兼任)に変更。

任用辞退のため、「日本語教育学Ⅱ」の担当者を丸島歩講師(兼任)から末田美香子講師(兼任)に変更。
任用辞退のため、「音声教育法」の担当者を丸島歩講師(兼任)から高橋恵利子講師(兼任)に変更。
授業内容充実のため、「生物学」の担当者を出井雅彦教授(兼担)から豊田健介講師(兼任)に変更
(表案内谷元夫のにの)、1生物学」の担当者を大田東勢校(末担)から室田観汀時間(末任)に交送
担当科目振記報修正のため、「生物学」の担当者を大田貴講師(兼任)、から豊田健介護師(兼任)に修正,
担当科目記載漏れのため、「生理学」の担当者として奥野読講師(兼任)、大石昇講師(兼任)を追記。
任用辞退のため、「生態学」の担当者を片山舒康講師(兼任)から豊田健介講師(兼任)に変更
は出辞地のにのが、土地の子」の担当者を万山町保護制制、米は1から並出地では関い、米は1に変更、
投業内容充実のため、『心理学』の担当者を一村英幸教授(兼担)から女工科代教授(兼担)に変更、
授業内容充実のため、「文学」の担当者を須賀真以子講師(兼任)から奴田原論講師(兼任)に変更。
 担当科目誤記載修正のため、「生物学」の担当者を大石昇講師(兼任)から豊田健介講師(兼任)に修正
授業内容充実のため、「総合講座 I ※」の担当者を金子俊(住田俊)教授(兼担)、八藤後忠夫教授(兼担)、成田奈緒子教授(兼担)
な案内令元美のため、「総合論座 1 ※」の担当者を並予後(任田泉)教授(派担)、八勝後志大教授(兼担)、長島雅裕教授(兼担)、船山常門本教授(兼担)に変更。

授業内容充実のため、「総合講座 1 ※」の担当者を出井雅彦教授(兼担)、奥野琉講師 (兼社) 、大金薫講師 (兼任) から浅野信彦准教授 (兼担) に変更。

授業内容充実のため、「総合講座 1 ※」の担当者を出井雅彦教授 (兼担) 、奥野琉講師 (兼任) から浅野信彦准教授 (兼担) 、

会沢信彦教授 (兼担) 、井上清子教授 (兼担) 、高井和夫講師 (兼担) 、桑原干明講師 (兼担) 、小野里美帆教授 (兼担) 、太郎良信教授 (兼担) 、

業養正明教授 (兼担) 、小倉隆一郎教授 (兼担) に変更。
授業内容充実のため、「総合講座皿※」の担当者を福田豊穂教授(兼担)、松田典子(小林典子)講師(兼担)から
偏野和史講師(兼担)、西澤道知教授(兼担)に変更。
授業内容充実のため、「総合護座Ⅳ※」の担当者を川口良教授、山下革愛教授、二ノ神正路護師(兼任)から
神田祥子講師(兼担)、
                    千葉聡子教授(兼担)、堀あきこ講師(兼任)、菊地優美講師(兼任)に変更。
授業内容充実のため、「総合講座 V※」の担当者に山下浩一郎講師(兼任)を追加。
| 投票内容充実のため、「総合講座VIX2」の担当者を加川智子准教授、第分使司教授(兼担)、大場博幸准教授(兼担)、八藤後忠夫教授(兼担)、高橋克己教授(兼担)、太田和敬教授(兼担)、青山鉄平准教授(兼担)から二宮雅也准教授(兼担)に変更。
授業内容充実のため、「総合講座収※」の担当者を石橋昭良教授(兼担)・亀田裕見准教授(兼担)から佐藤正伸教授(兼担)に変更。
授業内容充実のため、「総合講座価※」の担当者岸田直子教授(兼担)から大場博幸准教授(兼担)に変更。
```

```
【平成30年度】
 所属学部の都合のため、「研究基礎演習 I 」の担当者を武田和恵教授、山川智子准教授から糸井江美教授、藤上降治准教授に変更。
 教育内容充実のため、「Oral Communication II」の担当者にグラヴィアニ・ジャン・フランソワ准教授を追加、
授業内容充実のため、「多文化共生論」の担当者を山川智子准教授から武田和惠教授に変更。
 授業内容充実のため、「Presentation & Debate」の担当者をスティーブン・ドーラン講師 (兼任) からアンソニー・フェントン講師 (兼任) に変更。
 授業内容充実のため、「Special Topics in Global Studies A【隔年】」の担当者を糸井正美教授からロジャー エドウィン パティモア講師 (兼任) に変更。
 技業内容充実のため、「Finglish for Academic Purposes」の担当者をグラヴィアニ・ジャン・フランソワ准教授、山田七恵(大谷七恵)講師(兼任)
大倉直子講師(兼任)から糸井江美教授、浅野明代講師(兼任)、アンソニー・フェントン講師(兼任)に変更。
任用辞退のため、「elearning Ⅲ」の担当者を大倉直子講師(兼任)から藤野佳子講師(兼任)に変更。
 授業内容充実のため、「Communicative English { {\hspace{ .8mm} {
m I}}\hspace{ .8mm}}({ {
m G}\hspace{ .8mm} {
m J}})」の担当者をボール・カレンダー講師(兼任)からアンソニー・フェントン講師(兼任)に変更。
 所属学部の都合のため、「English for Specific Purposes I | の担当者を藤上降治准教授、志村恵子講師 (兼任) 、笠井廟子講師 (兼任) から
 ・ 株井工美教授、浅野明代講師 (兼任)、藤野佳子講師 (兼任)に変更。
所属学部の都合のため、「英米文化 I (6) 」の担当者をグラハム児夢准教授からリチャード・ローガン教授に変更。
 所属学部の都合のため、「英米文化II(G)」の担当者をグラハム児夢准教授からリチャード・ローガン教授に変更。
授業内容充実のため、「多文化理解概論」の担当者にグラヴィアニ・ジャン・フランソワ准教授、ラメイ・アレック講師、グラハム児夢准教授(兼担)、
 渡辺敦子准教授 (兼担) 、菅谷有子講師 (兼任) を追加。
  担当予定であった兼担教員退職のため、「比較文化論」の担当者から大場博幸准教授(兼担)を削除
 所属学部の都合のため、「比較文化論」の担当者から舟部淑子准教授(兼担)を削除
 授業内容充実のため、「比較文化
渡辺敦子准教授(兼担)を追加。
                 「比較文化論」の担当者にグラヴィアニ・ジャン・フランソワ准教授、ラメイ・アレック講師、藤上隆治准教授、
 任用辞退のため、「社会と文学Ⅰ」の担当者を関谷由美子講師(兼任)から山内由起人(山内由起夫)講師(兼任)に変更。
 所属学部の都合のため、「演劇論 I」の担当者を日沖敦子(大塚敦子)講師(兼担)から青木祐子講師(兼任)に変更。
 任用辞退のため、「演劇論 I 」の担当者を磯山甚一講師 (兼任) から土井雅之推教授 (兼担) に変更。
任用辞退のため、「比較文化論 I 」の担当者を磯山甚一講師 (兼任) から山崎俊明講師 (兼任) に変更
 任用辞退のため、「キャリアデザイン論」の担当者を山内由起人(山内由起夫)講師(兼任)から来代美佳講師(兼任)に変更。
 は田店定のだめ、「キャリアリオリン論」の担当者を出い日起え、(田内田起犬) 語師『宋正』から末代美国時間 (宋正) に変更。
担当予定であった兼担教員退職のため、「特報処理と文化」をオムニバス形式に変更し、の担当者を大場構幸准教授 (兼担) から
寺澤浩樹教授 (兼担) 長谷川清教授 (兼担)、土井雅と准教授 (兼担) に変更。
所属学部の都合のため、「キャリアリテラシーⅡ」の担当者を亀田裕見准教授 (兼担) から鬼山信行教授 (兼担) に変更。
所属学部の都合のため、「キャリアリテラシーⅢ」の担当者を亀田裕見准教授 (兼担) から西澤道知教授 (兼担) に変更。
 任用辞退のため、「ドイツ語皿」の担当者を中村憲治講師(兼任)から山川智子准教授、岡田和子講師(兼任)に変更。
 任用辞退のため、「トピックで学ぶフランス語 A」を近藤美紀講師(兼任)から前山悠講師(兼任)に変更。
 任用辞退のため、「トピックで学ぶドイツ語 A」 を寄川直弓諡師(兼任) から福西弘美諡師(兼任) に変更。
 授業内容充実のため、「心理学」の担当者に大木桃代教授(兼担)から正木澄江講師(兼担)に変更。
任用辞退のため、「国際学」の担当者を下谷内奈緒(湯澤奈緒)講師(兼任)から中村長史講師(兼任)に変更。
 担当予定であった兼担教員退職のため、「総合講座伽」の担当者を大場博幸准教授(兼担)、今田晃一教授(兼担)から星野常夫教授(兼担)に変更。
授業内容充実のため、「経済学」の担当者に森元晶文講師(兼任)を追加。
 任用辞退のため、「宗教学」の担当者を宇田川彩講師(兼任)から大坪玲子講師(兼任)に変更。
任用辞退のため、「日本国憲法」の担当者を西村真理子講師(兼任)から神坂亮一講師(兼任)に変更。
所属学部の都合のため、「総合講座Ⅱ」の担当者から桑原千明講師(兼担)を削除。
 担当予定であった兼担教員退職のため、「総合講座Ⅱ」の担当者から今田晃一教授 (兼担) を削除。
授業内容充実のため、「総合講座Ⅱ」の担当者に清水邦彦教授 (兼担) から小幡肇講師 (兼担) を追加。
 任用辞退のため、「情報基礎」の担当者を今田晃一教授(兼担)、参大賢勇講師(兼任)、宮郎真由美講師(兼任)から石岡綾香講師(兼任)に変更。
任用辞退のため、「情報活用」の担当者を鈴木賢男講師(兼任)、宮郎真由美講師(兼任)から石岡綾香講師(兼任)に変更。
 任用辞退のため、「情報A」の担当者を和氣愛仁講師(兼任)から笠原正宏講師(兼任)に変更。
               「情報日」の担当者を鈴木賢男講師(兼任)から笠原正宏講師(兼任)に変更。
 任用辞退のため、
 授業内容充実のため、「情報C」の担当者を奴田原論講師 (兼任) から衛藤教講師 (兼任) に変更。
担当予定であった兼担教員退職のため、「スポーツと人間 I」の担当者を加藤教授 (兼担) から辻敦講師 (兼任) に変更。
担当予定であった兼担教員退職のため、「スポーツと人間 I」の担当者を加藤教授 (兼担) から高核宗良講師 (兼任) に変更。
```

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ <u>数可で配置された学部等の事任報員を変更する場合</u>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、 大学設置・学校法と審議会による教員資格審査 (AC教員審査)を受けてください。 <u>AC教員書事を受けずに享任教員として授業等を担当することは出来ません。</u>
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略

 - となっている場合は、「教食審査省略」と記入してください。 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

- (2) 専仟教員数等
 - (2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

- (注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。
 - (2) ② 専任教員数

	i	设置時の計	由			現在(報	告書提出時)の状況		現在	(報告書提	出時)の完	成年度時0)計画
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	教 授	准教授	講師	助教	計 (C)
3	6	1	0	10	4	5	1	0	10	4	5	1	0	10
-4	-5	-1	0	-10						[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に記入した数字に、後員書金を受審済みであり、 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - (2) ③ 年齢構成

	年齡構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延 長して採用している教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員教および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員教を記入してください。なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ととの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C = 10 設置時の計画(A) = 100

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = $\frac{0}{10}$ =

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況		就任	£辞退	(未就	任)の理由		
1			該当なし												
2															
			合計	(D)					後	经任補充状況	の集計	(E)			
Į.	就任?	を辞	退した教員数	担当科目数の合言	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数(a)		②の合計	数(b)		③の合計	数(c)
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		_		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専仟教員辞仟の理由及び後仟補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任	£等の	理由		
1			該当なし												
2															
			合計	(F)					後	长任補充状況	の集計	(G)			
	f	辛任 し	した教員数	担当科目数の合語	it (a) +	(b) + (c)	①の合計	数(a)		②の合計	数(b))	③の合計	数(c)
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教	員数	担当科目数の合語	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a))	②の合計	十数(b))	③の合計	数 (c))
		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

 $\frac{(3)-(3)-(3)-(3)-(3)+(F)}{(2)-(2)$ 設置時の計画(A) = $\frac{0}{\#REF!}$ = #REF! %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任	£等の	理由		
1			該当なし						-						
L'			成当なし												
2									-						
_									1						
				\					<u> </u>	// I ler 1 db .de .l	1.70 6	1			
			Ê	計						後任補充物	大況の第	₽#T			
	刮	辛任し	した教員数	担当科目数の合詞	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	数 (a)		②の合計	数 (b))	③の合計	数(c)
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		•		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	Α	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし		

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を 記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区分	留意事項等	履行状況	未履行事項について の実施計画
設置時(平成29年4月)	該当なし		
設置計画履行状況調 査 時(平成30年4月)	該当なし		

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>客附行為又は客附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を()書き</u>で付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<文学部 外国語学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成23年度より「文教大学教育研究推進センター」を設置した。

- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・教育研究推進センター全体運営会議

(平成29年度)年2回/構成員計(教員16名、事務局1名)参加 各回平均14名の出席

- 教育研究推進センター越谷校舎運営会議
- (平成29年度) 年9回/構成員計(教員7名、事務局1名)参加 各回平均7名の出席
- 教育研究推進センター湘南校舎運営会議

(平成29年度) 年9回/構成員計(教員9名、事務局1名)参加 各回平均8名の出席

- c 委員会の審議事項等
 - ・授業アンケートの実施・評価・活用に関すること
 - ・授業スキルの向上に関すること
 - ・教育の改善のための教員研修に関すること
 - ・外部資金獲得の支援に関すること
 - ・研究環境の改善に関すること
- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ・授業改善のためのアンケートの実施
 - ・新任教員のための研修会の実施
 - ・授業改善のための学生・教職員懇談会の実施

- b 実施方法
 - ・授業改善アンケートの実施⇒セメスター終了時に原則として履修者数が10名以上の授業で実施
 - ・新任教員のための研修会

4月上旬に、全新任教員向けに学長、副学長および学部長等を説明者とし、約6時間の集合研修を実施 (教育理念、教育姿勢、特色、授業改善に関する講演、授業各学部紹介、研究倫理、ハラスメント防止、 学術情報データベース等について)

・学生と教職員との授業懇談会の実施

学生から授業運営に関する要望を主に聞くための場として学生と教職員との授業懇談会を実施した。

- ・FD・SD研修会の実施 (障害者差別解消法) 障害者差別解消法をテーマに合理的配慮についても取り上げと大学としてどのようなことをすべきか、議論を行い、考え方を共有した。
- ・F D・S D研修会の実施(学生の意見を題材とした教職員ディスカッション) 授業改善のための学生・教職員懇談会記録、学生生活調査・卒業時アンケートおよび授業改善のための アンケートを通じて寄せられた学生の意見を題材に議論を行った。
- ・FD・SD研修会の実施(FD・SDの現状と本学の課題) FD・SDについてその現状と対応すべき対象・範疇について確認し、本学の課題を共有する機会として 議論を行った。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・新任教員研修会 毎年4月 平成30年度は、該当新任教員13名のうち12名参加
 - ・FD・SD研修会 平成29年4月3日に開催 教員145名、職員11名参加
 - ・FD・SD研修会 平成29年7月26日に開催 教員23名、職員6名参加
 - ・FD・SD研修会 平成29年10月18日に開催 教員29名、職員17名参加
 - ・授業改善のための学生・教職員懇談会 平成29年12月20日に開催 学生20名、教員8名、職員4名参加
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・研修会実施後は、報告を行い、教員個人が授業改善に向けて役立てている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期 平成29年7月及び平成30年1月に実施
 - b 教員や学生への公開状況,方法等 授業区分ごとに集計を行い、学内専用ホームページに集計結果を掲載している。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所

(別紙の通り)

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - •平成27年4月1日 公表
 - b 公表方法
 - 大学ホームページに掲載
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成27年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受け、大学基準に適合との認定を受けた。評価結果は 大学ホームページに公表済み
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 〇 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表(予定)の有無 (有) ・ 無)
 - b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30 年 6 月 1 日)
- (注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
 - ・ 「b 公表(予定) 有の場合の公表(予定) 時期」には、「a ホームページに公表(予定) 有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項 ①設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(設置の趣旨・目的)

文教大学文学部は、既存の日本語日本文学科、英米語英米文学科、中国語中国文学科の3 学科体制ならびに日本語教員養成コース、多文化理解コースによる学部教育の見直しを図り、グローバル化の動向に対応し、言語バリアを超えたコミュニケーションをおこなって国際社会に貢献できる人材育成に取り組むことが必要であると判断し、外国語学科を新たに設置した。

これはグローバル化に対応できる知識・能力として求められる英語ないし英語プラス1の言語コミュニケーション能力に対するニーズに応え得る人材として育成する学科である。 教育研究上の目的として「世界共通語としての英語、ないしは英語プラス1の言語コミュニケーション能力を身につけ、ボーダーレスとなった現代社会の多様な文化に対する理解を支えに、日本国内で、あるいは世界で起こりうる、さまざまな異文化接触の場面において、柔軟な対応により問題解決をはかり、社会に貢献できる人材を養成する。」ことを定め、養成する人材として以下の3点を掲げている。

- 1) 高い英語(多言語) 運用能力を身につけ、言語バリアを越えて地域や職場、ひいては 社会における問題解決を図れる人材
- 2) 現代のグローバル社会に対する洞察と展望、多言語多文化に対する理解と共感を備えて、日本と他の国家、あるいは世界の国々同士を結ぶ仲介者として、文化的資源の共有を促進できる人材
- 3) 言語(英語)のエキスパートとして、言語に関連した要請に応え、国内外で言語・文化 背景の異なる人と協力協働することを通して、総合的な対応力を発揮し貢献できる人 材

1. 教員の就任状況について

外国語学科の設置にあたっては、日本語日本文学科、英米語英米文学科からの移籍、また平成29年4月1日付をもって2名の教員が着任した。これにより平成29年度の外国語学科所属の教員は10名となった。

2. 施設設備等の準備状況について

施設設備等については、従来の文学部の施設設備を利用することとしており、問題なく 稼働している。

3. 志願状況及び入学者数について

平成30年度の学生募集を行った結果、文学部外国語学科の状況は以下の通りである。

募集人員	志願者	入学者	昨年度志願者
70	381	91	402

※受験者数377名、合格者数189名、入学者には学籍番号付与後の辞退者2名を含まない

4. 総括評価

平成30年度入試において、上記のように志願者数は29年度よりわずかに減ったものの、合格者の歩留まりは前年度より良かった。そのため、入学者数が定員の1.3倍となってしまったが、必修科目のクラス数を急遽増やして少人数での授業運営を可能にした。併願状況等から、前年度以上に英米語英米文学科との差別化はできているように見える。

2017 年度は、カリキュラムの1年次科目のみの開設であったが、英語を日常の中で自然に使いこなす心構えを醸成するよう、入学間もない時期に英語合宿を行うとともに、専門科目のうち30%を超える科目で、英語で授業を行ったこと、英語能力試験(CASEC、TOEIC)を学期の区切りで行ったこと、2年次春学期の1セメスター留学に向けて留学先別の準備クラスを設けたこと、留学に向けた事前説明会を細やかに行ったこと等により、学生が自らの力を確認し、目標を明確に意識した上で、学習に向かう環境を提供できたと考えている。

入学時の83名から3名が進路変更を理由に退学し、新2年の在籍者数は80名である。このうち、留学参加を延期する1名を除く79名が、マレーシア、ニュージーランド、アイルランド、カナダ、アメリカの計5か国7つの大学附属英語研修機関で12週間から16週間の1セメスター留学に参加する準備を進めており、短期留学を必修とするプログラムを着実に履行している。また、学生たちは、学科の専門科目以外にも、文学部共通専門科目に含まれる多文化理解・地域研究や言語文化系の科目を積極的に履修している。日本語教員養成コースに登録し、資格取得に必要な科目を履修する学生も多く、学科が掲げる卒業後のキャリアと学生が実際に履修する科目がうまく適合している。

2017 年度後半では、2年次秋学期のコース選択・ゼミ選択に向けた説明会を行い、2年次以降の学びについて学生に目を向けさせ準備を促す機会を設けた。外部講師を招いたり、学外のNPO等との連携について可能性を探るなど、大学内での学びを大学外の活動に結び付ける道を学生・教員ともに模索し、構築するプロセスを進めつつあり、2年次以降のカリキュラムに関する準備も一歩ずつ整いつつある。

この4月から、SNSを活用した広報も開始した。次年度に向けて在学生の活動を広くアピールしながら、学科のポリシーに合致した、意識の高い志願者を集められるよう、さまざまな工夫を行っていきたい。

文教大学教育研究推進センター規程

(目的)

第1条 この規程は、文教大学(以下「本学」という。)学則第67条に基づき、文教大学教育研究推進センター(以下「センター」という。)の組織及び管理運営に必要な事項を定め、センターを効果的に管理運営することによって教員の教育研究活動に対して必要な支援を提供し、もって本学の教育研究の水準を向上させることを目的とする

(設置)

第2条 センターは、本部を旗の台校舎に置き、支部として、越谷校舎及び湘南校舎にそれぞれ 教育研究推進センター越谷及び教育研究推進センター湘南(以下「校舎センター」という。)を 置く。

(事業等)

- 第3条 センターは、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事業等を行う。
- (1)本学の教育改善及び研究推進を目指す事業
- (2)本学教員の教育・研究推進に関わる資金獲得に向けての支援
- (3)教育及び研究に関わる外部機関との連携の支援
- (4)大学組織及び教育・研究に関わるデータの収集・管理に関する事務及び事業
- (5)その他本学の教育研究水準向上に資する事業
- 2 センターは、前項の事業等を計画・実施する際、大学院を含む本学の教育研究組織と十分な 連携をとり、効果的な事業等を適切に実施できるように努めなければならない。

(センターの構成)

第4条 センターは、次の者をもって構成する。

センター長 1名

センター次長 2名 (各校舎1名)

センター主任13名事務組織責任者1名

事務職員 必要と認めた人数

(組織)

- **第5条** 第3条に規定する各事業を遂行するため、校舎センターに次の部門を置く。
- (1)教育推進部
- (2)研究推進部
- (3)連携推進部
- (4)調査部
- 2 前項に関わらず、課題によってセンター全体で取り組むこととし、その場合は、所属部門に 関わらずセンター主任による担当チームを置くことができるものとする。
- 3 前項の担当チームの設置及び構成は、センター長が決定する。 (センター長)
- **第6条** センター長は、学長の命を受けセンターの運営方針を決定し、その事業を統括する。

- 2 センター長は、毎年度の終わりに当該年度の事業の成果及び次年度の事業計画を学長に報告し、承認を得なければならない。
- 3 センター長は、センターの業務遂行状況について、適宜学長に報告し、また、協議するもの とする。
- 4 センター長は、全体運営会議を開催し、議長となる。
- 5 センター長は、第5条第1項に規定する部門の事業を全学的な方針のもとに進めるため、両校舎合同の部門会議を開催し、各部門の業務遂行に必要な事項を協議する。
- 6 センター長は、本学の副学長の中から学長が任命する。ただし、副学長不在の場合は、本学の専任教員から学長が任命する。
- 7 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 8 センター長が任期途中で交代した場合、後任の任期は、前任者の残任期間とする。 (センター次長)
- **第7条** センター次長は、センター長の命を受け、所属する校舎センターに設置する各部門の連携及び調整を図るとともに、校舎の教育推進部の責任者となり、また、校舎センターの業務を 統括する。
- 2 センター次長は、校舎運営会議を開催し、議長となる。
- 3 センター次長は、各校舎の専任教員の中から学長が任命する。
- 4 センター次長の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 5 センター次長が任期途中で交代した場合、後任の任期は、前任者の残任期間とする。 (センター主任)
- **第8条** センター主任は、第5条に規定する部門のいずれかに所属し、センター長の命を受け、 その業務を遂行する。
- 2 教育推進部に所属するセンター主任は、各学部1名ずつとし、当該主任の任期満了の1カ月 前までに学部長の推薦に基づき学長が任命する。
- 3 研究推進部、連携推進部、調査部に所属するセンター主任は、部門ごとに各校舎1名ずつと し、当該主任の任期満了の1カ月前までに学長が任命する。
- 4 センター主任の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 5 センター主任が任期途中で交代した場合、後任の任期は、前任者の残任期間とする。 (各部門の構成及び所掌事項)
- 第9条 第5条に規定する各部門の構成及び所掌事項は、次の各項に定める通りとする。
- 1 教育推進部
 - (1) 構成

教育推進部は、センター次長及び第8条第2項による主任で構成する。

(2)業務

教育推進部は、以下の業務を遂行する。

- ア、授業アンケートの実施・評価・活用に関すること。
- イ、教員の授業スキルの向上に関すること。
- ウ、教育の改善のための教員研修に関すること。

- エ、教育環境改善方策に関すること
- オ、その他、第3条の事業を推進するために必要なこと

2 研究推進部

(1) 構成

研究推進部は、第8条第3項による主任で構成する。

(2)業務

研究推進部は、以下の業務を遂行する。

- ア、外部資金獲得の支援に関すること
- イ、研究環境改善方策に関すること
- ウ、学長調整金による研究等支援の手続きに関すること
- エ、学術図書出版助成の手続きに関すること
- オ、研究倫理関係書類の保管に関すること
- カ、その他、第3条の事業を推進するために必要なこと

3 連携推進部

(1) 構成

連携推進部は、第8条第3項による主任で構成する。

(2)業務

連携推進部は、以下の業務を遂行する。

- ア、地域大学等とのコンソーシアムの推進に関すること
- イ、産官学連携の推進に関すること
- ウ、その他、第3条の事業を推進するために必要なこと

4 調査部

(1) 構成

調査部は、第8条第3項による主任で構成する。

(2)業務

調査部は、以下の業務を遂行する。

- ア、学生生活調査の実施に関すること
- イ、本学の教育及び研究に関する各種統計の収集及び管理に関すること
- ウ、教員の教育研究業績の管理及び公開に関すること
- エ、その他、第3条の事業を推進するために必要なこと

(部門の運営)

- 第10条 第5条に規定する各部門の運営は次の各項に定める通りとする。
- 1 教育推進部
 - ア、校舎の教育推進部は、センター次長を中心に校舎における教育推進部の業務を遂行 する。
 - イ、教育推進部は、校舎教務委員長、学部教務委員長等との連絡会を持つものとする。
 - ウ、前号の連絡会は、両校舎合同で開催する場合はセンター長が招集し、校舎ごとに開催する場合はセンター次長が招集する。

- エ、教育推進部の各主任は、各学部の教授会に必要な連絡及び報告を行い、連携を良く して教育改善の取り組みを進めなければならない。
- 2 研究推進部
 - ア、研究推進部主任は、校舎における研究推進部の業務を遂行する。
 - イ、研究推進部は、研究所長との連絡会を持つものとする。
 - ウ、前号の連絡会は、両校舎合同で開催する場合はセンター長が招集し、校舎ごとに開催する場合は研究推進部主任が招集する。
- 3 連携推進部及び調査部
 - ア、連携推進部及び調査部の主任は、所属する校舎におけるそれぞれの部門の業務を遂 行する。
- 4 第5条に規定する各部門は、センター長が開催する両校舎合同の部門会議を通じ、全学的な 方針に基づいて業務を遂行するものとする。

(全体運営会議)

- 第11条 センターの運営方針を確認し、センター全体の業務遂行状況を把握し、構成員相互の 意思疎通を図り、業務を効率的に実施するため、全体運営会議を開催する。
- 2 全体運営会議は、次の者をもって構成する。
 - (1)センター長
 - (2)センター次長
 - (3)センター主任
 - (4)事務組織責任者
 - (5)その他センター長が必要と認めた者
- 3 全体運営会議は、年2回開催することを原則とし、必要な場合は臨時にこれを開催できることとする。
- 4 全体運営会議で協議された事項は、センター長が学長に報告する。

(校舎運営会議)

- **第12条** 校舎センターの業務遂行状況を把握し、構成員相互の意思疎通を図り、業務を効率的に実施するため、校舎運営会議を開催する。
- 2 校舎運営会議は、次の者をもって構成する。
 - (1)当該校舎センターに所属するセンター次長
 - (2) 当該校舎センターに所属するセンター主任
 - (3)事務組織責任者
 - (4)その他センター次長が必要と認めた者
- 3 校舎運営会議は、毎月1回(8月を除く。) 開催することを原則とし、必要な場合は臨時にこれを開催できることとする。
- 4 センター次長は、校舎運営会議で協議された事項について、センター長に報告する。 (事務)
- 第13条 センターの事務は、大学事務局長が指名した部局が主管する。

(改廃)

第14条 この規程の改廃は、大学審議会の議を経て学長が決定する。

附則

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 文教大学及び文教大学女子短期大学部教育・研究推進委員会規程は、廃止する。

附則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。